

どうしたら苦い思いから開放されるか

クリスチアンの人間関係についてのエッセイ集

気をつけて神の恵みからもれることがないように、また苦い根が生え出てあなた方を悩まし、それによって多くの人が汚されることのないようにしなさい。

へブル人への手紙 12章 15節

目次

1. 苦い思いからの開放	ジム ウィルソン
2. 人を許す	ジム ウィルソン
3. 人の怒り	ヘザーウィルソン
4. 傷つけられる思い	ヘザーウィルソン
5. 舌の制御	クリス ヴィラコス
6. 内省	ジム ウィルソン
7. 両親との関係	ジム ウィルソン
8. あふれる愛	ジム ウィルソン
9. 女性にとっての安らぎ	ジム ウィルソン
10. 責任感のある男性	ジム ウィルソン
11. 信仰についての問答	ジム ウィルソン
12. 福音	ジム ウィルソン

苦い思いからの開放

ジム ウィルソン

すべての無慈悲、憤り、怒り、騒ぎ、そしり、また一切の悪意を捨て去りなさい。互いに情け深く、哀れみ深い者になり、神がキリストによって、あなた方を許してくださったように、あなた方も互いに赦し合いなさい。こうして、あなた方は、神に愛されている子供として、神に習う者になりなさい。また愛のうちに歩きなさい。キリストもあなた方を愛して下さって、私たちのために、ご自身を神への芳しい香りのささげ物、またいけにえとしてささげられたのである。

エペソ人への手紙4章31節、5章2節
ここで悪意を捨て去りなさいとあります。私たちの全ての行いにキリストの十字架を反映しなければなりません。私たちはすべてキリストに見習うのです。旧約聖書にナオミ（楽しみという意味）という女性の物語があります。彼女はイスラエルから他国に夫と息子たちと共に寄留しました。彼女は夫に死なれ、数十年のうちに息子たちにも後をたたれて、彼女は、義理の娘たちにこう言いました。

「私をナオミ（楽しみ）と呼ばないで、マラ（苦しみ）と呼んでください。なぜなら全能者が私をひどく苦しめられたからです。わたしは、出て行くときは豊かでありましたが、主は私を空手で帰されました。主が私を悩まし全能者は私に災いを下されたのに、どうして私をナオミと呼ぶのですか。」ルツ着20章21節
彼女は神に対して恨みを抱きました。彼女の夫や息子を奪ったのは神でした。彼女は神を責めました。このような人は今の世の中にもたくさんいます。苦い思いから開放されず、そのとりこになっているのです。このような人は世の中だけでなく教会にもいます。見てわかります。目つきから、顔つきか、笑っていても、隠せません。話し振りでわかります。怒りは本心を隠せません。ナオミの他にも悪意を抱いた人を聖書は記しています。神はヨナに怒るのはよくないと言いました。ヨナは「私は怒りのあまり狂い死そうです。」と言いました。彼のように怒って人を許せない人がたくさんいます。自分の正しいことを主張して他人を許せないのです。しかし聖書には悪意を捨て情け深く哀れみ深い人になりなさいとあります。心に悪意と善意を同時に持つことは出来ません。聖書はこのことをどう見ているのでしょうか。

私たちは他人の悪意は敏感に気づきますが、自分の悪意には気づきません。クリスチャンが罪を犯したとき、たとえば嘘をついたとしたら、自分に対して怒るでしょうか、それとも、良心の呵責を感じるでしょうか。もちろん、良心の呵責を感じます。しかし、他の人があなたのことで偽証したら、良心の呵責を感じるでしょうか、それとも怒るでしょうか。怒るのが通常でしょう。悪意とは普通、他人に向けられます。自分が犯した罪なら良心の呵責を感じ告白してすみませんが、他人の罪には悪意を抱きます。悪意とは必然的に他人の罪に対して、それが架空であるか事実であるかに関わらず、感じるものなのです。例えば、ある人が言ったことに腹を立てた人います。実際は彼がそう言ったと誤解しているのですが、その人は相手が謝るまで悪意を抱いています。相手は言った覚えもないのにどうして謝らなければなりませんか。

しかし、もしそれが事実だとしたらどうでしょう？ 実際、人から悪くあしらわれたとしたらどうでしょう？。悪意は事の大小に関わりませんが、巻き込まれた人々の関係がどれだけ接近しているかにつながってきます。例えばある虐殺事件の記事を読みます。それがイラン、イラク、あるいは、どこか南米諸国で起こったのであれば、私たちは、ひどい事だと思っても、別に良心の呵責も悪意も感じません。悪意は事の内容でなく、どれだけ個人関係が接近しているかです。つまり、両親、兄弟、姉妹、夫婦間、子供、男女友達、同僚、職場の人、親戚、祖父祖母、そして神との関係に悪意を抱く人もたくさんいます。些細なことでも、関係が身近と言うので、悪意を抱くのです。それが些細なことでも、例えば、ソックスをいつも置きっぱなしにしている人に苛立ちます。腹立つのが当然とおもっているでしょうが、聖書は、悪意を捨てなさいとあります。

「苦い根が生え出て、あなた方を悩まし、それによって汚れされることないようにしなさい。」ヘブル人への手紙12章15節

苦い根とは何でしょうか。悪意の根は一人から始まって全体にはびこります。苦い思いに汚れ、傷ついて神の恵みを損なわれないようにと訓戒しています。ある人が悪意を長いこと内に閉ざしていたら、そのうちに身体に支障が出てきます。医者について見てもらおうと、精神科の医者は、彼が20年も父親に対して抱いている悪意に起因している胃潰瘍と診断しました。家に帰って父親に存分言って心の中をすっきりしなさいと言われました。ここに二つの解決法があります。悪意を周りの人にまき散らすこと、もうひとつの方法は、神の解決法で、苦い根を取り除くことです。内に閉じこもらず、また他人に理解を求めようとせず、神に心の中にある全てを任せることです。

「しかしもしあなた方の心の中に苦々しいねたみや党派心を抱いているのなら、誇り高ぶってはならない。なた真理にそむいて偽ってはならない。そのような知恵は上から下ってきたものではなくて、地につくもの、肉に属するもの悪魔的なものである。」ヤコブの手紙3章14-15節

私はかつて海軍士官学校にいた頃、妬みとか嫉妬心など年をとるにつれて、消えると思っていたのですが、苦い思いとは、実は年と共に蓄積されます。内にこも

った苦い思いを開放しない限り積もり重なってゆきます。どしたらそれから開放されるでしょうか。

まず始めに、自分の内に苦い思いがあることに気づくことです。苦い思いを抱いている人は、詳細を覚えています。何年前のことでも、相手の言った辛らつな言葉を忘れることが出来ません。良い思い出も忘れません言われるかもしれませんが、普通人間は、悪い思い出を忘れることが出来ません。どうしてでしょう。人間の記憶とは何回も繰り返しているうちに強められてきます。人は楽しい記憶より悪い記憶を熟考するものです。私は結婚のカウンセラーとして幸せに結婚した人の離婚問題の相談を受けることがあります。勝手は幸せに結婚した彼らが繰り返すと言う事は互いの悪意と不満ばかりです。自分の正しいことを主張して相手を責めます。何年前の子供の頃とか、若い時のことを持ち出して、人を責める人は、苦い思いを抱いているからです。

かって、私は、テキサス州のダラス市でこのことを主題にして話しました。その中に8年前にワシントン州のプルマン市で知り合ったカップルが出席していました。彼女は結婚の始めの頃母親に抱いていた悪い思いを夫にこぼしていましたが今は、それから開放されたことを告げました。そのことを同じ思いで悩んでいる人に言って励まそうと思ったのですが、苦い思い出を一切覚えていないのです。主が取り除いたのですと彼女は証しました。

4週間の結婚セミナーを開いた時、一人の女性が出席しました。彼女の顔つきは苦い思いを隠せません。40年もその思いの虜になっていたのですが、その夜開放されました。次の朝私の本屋にたち寄ったとき、彼女の表情はすっかり変わっていました。彼女は内側の汚れを、洗い清めました。

私たちは嘘をついたら、告白して許されます。同様に苦い思いも、人を責めることをしないで、自分自身の問題として告白し苦い思いを捨て去るのです。

「怒ってはいないけど、ただ傷つき安いのです。」とといいます。しかし、傷ついた人は内心怒っているのです。内にある怒りと苦い思いは関連しています。苦い思いは長年に腐り古びた怒りなのです。そこには連鎖反応で苦い思いが憎しみに変わってゆきます。憎しみが殺人に展開します。それは、言いすぎと言われるかもしれませんが、聖書に証されている事実です。

ここで指摘したいのは、苦い思いは軽視できない必然的な罪を潜在していると言うことです。まづ始めに、自分に苦い思いがあること、そして、それが罪であることを認めることです。罪として認めない理由は、相手に過ちがあり、自分はその犠牲者で、相手が謝ったら、それで済むと思うからです。しかし、相手が謝らなかつたら、あなたは生涯怒って過ごすのですか？ 何年後に、彼が謝ったら、許すでしょうか。許す心があれば、彼が謝るのを待つことないです。相手の謝罪に関係なく、人を許すのです。

「いや、相手に咎があります。彼が認めれば、全て解決します」とあなたは言います。しかし、実際はそうではありません。相手が謝った後でも、苦い思いを捨て切れません。相手が既に死んでしまったのに、それでもなお苦い思いを抱いている人がいます。両親が既に亡くなったのに、苦い思いは亡くなりません。

私は、一度ワラワラ市の州立刑務所の犯罪人への伝道集会を持ったことがあります。ある犯罪人が質問しました。自分の子供を虐待した人への憎しみをどう扱うかと問いました。私はどうしたら苦い思いから逃れるかについて話し、「あなたが苦い思いから解放されたら、他の人にも子供を虐待しないように証をすることが出来ます。」と言いました。

「いや、出来ない。」と彼は言いました。

「もちろん、出来ます。」

「いや、いや、」

「どしてですか。」

「彼は死にました。」

この犯罪人は殺人を犯したのです。彼の3歳の子供を虐待した人を殺したのです。それで刑務所にいるのです。彼は人を殺した後でも復讐心から解放されません。相手が謝罪したから苦い思いから解放されるのではありません。苦い思いから開放される唯一の道は主イエスキリスの死と甦りに信仰を告白して、苦い思いから開放されるのです。これ以外の解決の道はありません。あなたが恨みを抱いている人は既に亡くなった人です。あなたは、この犯罪人のように殺人まではしなかったが、既に死んでしまった人への恨みから解放されないでいる事に関しては同じです。既に亡くなった人が信者であれば、罪を許され清められ、主と共にいます。命の書に名前を記されて、天国に召された人に恨みを抱いているのは無駄なことです。信者でなかった人については、テサロニケ第2の手紙1章6－8節にこう書かれています。

神は正しいことを行われます。あなた方を苦しめている者には、苦しみをもって報い、また、苦しみを受けているあなたがには、私たちと共に休息を持って報いてくださるのです。主イエスが力強い天使たちを率いて天から来られる時、神はこの報いを実現なさいます。主イエスは燃え盛る火の中をこられます。

愛する人たち、自分で復讐せず、神の怒りに任せなさい。「復讐は私のすること、私が報復する」と主は言われると書いてあります。

ローマ書12章19節

神は公平に報復されます。

自分で復讐しても、決して苦い思いから解放されません。苦い思いに長年捕われて、自分だけでなく、周りの人を傷つけているのです。苦い思いは自分の罪以外の何でもないのです。それを自分の罪として悔い改め告白することで赦しと喜びを体験することが出来ます。内に閉じ込めておいてはいけません。他人に打ち明けてもいけません。ただ神に全て自分の罪を告白するのです。これに徹するのです。

ある時カリフォルニア州のモンテリーの海軍大学院で講演した時、そこに聖書教師として評判のある海軍将校が主席していました。彼は潜水艦の司令官のポストに昇進されず、そのことを内に秘めて海軍に対して怒りを抱いていました。それが罪であること聞いた時、彼は全くたじろぎましたが、悔い改めて怒りを捨て去り

ました。彼の奥さんが言いました。「新しい夫を得たようです。彼は、海軍を恨んでいましたが、それが自分の罪であることを告白しました。」

エミー カーマイケルの本「もし.. .」にこう書いてあります。「甘い水の満ちたカップを揺さぶっても苦い水はこぼれない。」甘い水は誰が揺さぶっても甘い水がこぼれ、同様に苦い水も誰が揺さぶっても苦い水しかこぼれません。人は、どんな環境に揺さぶられてもその人の心が表れます。苦い思いも相手が何をしたかでなく、私たちがどう対処するかに表われます。

何年も前のことですが、私は部屋で何か仕事をしていました。妻のベッチーが本を読んでいました。私のやっていたことがうまくいかずいらいらして、その瞬間彼女の言ったことに、かっとして、暴言をはきました。クリスチャンとして全く失格なことを言いました。彼女は、驚いて私を見て出て行きました。私は、10分ぐらい自分に言い聞かせました。「彼女があんなこと言わなかったらよかったのに、彼女のせいだ、僕がこんなに腹立っているのは、、、」と、自分の立場を正当化しました。

でも彼女がやったことは私を揺さぶっただけです。私の中身がこぼれ出てきただけです。「苦味の思いからの解放」を教えている自分が偽善的に思えてきました。それでも、彼女の言った事をいぶかりました。しばらくして、私はひざまづいて祈りました。

「主よ、私が悪かったのです。私の怒りが罪なのです。自分の罪を告白して離れます。どうぞ私の罪をお許してください。」祈り終わって、立ち上がると、またなんとなく「彼女も悪いんだ、、、」と言う思いが起きました。そしてまた、祈りました。「主よ、許してください。これは私の責任です、私の罪です。」

立ち上がるや否や、「いや、彼女が言ったから始まったんだ、、、」と自己弁護の誘惑心が起きます。そしてまたひざまづいて祈りました。今度は、心の誘惑が無くなるまで45分ほど祈りました。今は、あの時彼女が何を言ったか、私が何をして苛立ったのかぜんぜん覚えていません。ただ覚えているのは祈りから立ち上がったことです。

あの時、苦い思いを処分しておかなかったら、今でも彼女の言ったことを決して忘れなかったでしょう。

苦い思いから解放されるには、その思いの根本的な悪に目を向けることです。それは、私自身の罪であり、人の謝罪でとか、相手が亡くなったからその思いから解放されるものではありません。唯一の解放は、聖なる神に犯した自分自身の罪以外の何物でもないことを告白し、神の許しに預かるのです。

困難なのは、相手から目を離すことです。相手に責任があると思っている限り、苦い思いは離れません。もし相手に咎あるとしても、あなた自身が愛に満ちているなら、相手のとがを無視し、かえって哀れみ深く彼に接し、かえって彼を助きたい思いに駆られます。

苦い根の罪が頑固にはびこり、広がっています。これがこの国のキリスト教伝道の大きなつまずきとなり、妨げになっていると思います。クリスチャン各自が真

の罪の赦しを体験したら、それを他の人々にも証でき、リバイバルとして広がるようになります。

次のステップ：御言葉への応答

誰かに対して苦い思いを抱いていますか？ 神にすべてを打ち明けるのです。どうすべきかを聖霊様に導いて下さるように祈り、神の御言葉に従って下さい。

「お互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなた方を赦して下さったように、赦し合いなさい」エペソ人への手紙4：32

人を赦す

ジム ウィルソン

あなた方の一人一人が、心から兄弟を赦さないなら、私の天の父もあなた方に同じようになさるであろう。

マタイ伝18：35

ここでイエス様は、赦しについて語っておられます。私たちも赦し合いを経験しますが、時々「いや、何も謝ることないですよ。」と言われる人がいます。しかし実際、そう思っているのでしょうか？内心赦すのを拒否しているのです。「もう、済んだことです。」と言っても内心はそう思っていない

しかし、心から赦さなければと聖書は言っています。神様は私たちが心から赦さないなら、同じように扱うと言っています。たとえ言葉では、相手を赦しても神様はあなたの心の中をご存知です。聖書には、神様が私たちをどう扱うと書いてあるのでしょうか。そのとき、ペテロがイエスのところに来て言った。「主よ、兄弟が私に対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか。七回までですか。」イエスは言われた。「あなたに言うておく。七回どころか七の七十倍までも赦しなさい。」

マタイ伝18：21-22

イエス様は七十倍と制限されたのでしょうか。記録して数え上げなさいと言われていたのでしょうか。490回まで数えることでしょうか。それでは、赦してないことと同然です。心から赦しているなら、相手の罪を数えたりしません。

そこで、天の国は次のようにたとえられる。ある王が、家来たちに貸した金の決済をしようとした。決済し始めたところ、一万タレントン借金している家来が、王の前に連れて来られた。しかし、返済できなかったので、主君はこの家来に、自分も妻も子も、また持ち物も全部売って返済するように命じた。家来はひれ伏し、「どうか待ってください。きっと全部お返しします」としきりに願った。その家来の主君は憐れに思って、彼を赦し、その借金を張消してやった。ところが、この家来は外に出て、自分に百デナリオンの借金をしている仲間に出会

うと、捕まえて首を絞め、「借金を返せ」と言った。仲間はひれ伏して、「どうか待ってくれ。返すから」としきりに頼んだ。しかし、承知せず、その仲間を引っ張って行き、借金を返すまでと牢に入れた。仲間たちは、事の次第を見て非常に心を痛み、主君の前に出て事件を残らず告げた。そこで、主君はその家来を呼びつけて言った。「不届きな家来だ。お前が頼んだから、借金を全部張消しにしてやったのだ。私がお前を憐れんでやったように、お前も自分の仲間を憐れんでやるべきではなかったか。」そして、主君は怒って、借金をすっかり返済するまでと、家来を牢役人に引き渡した。あなた方の一人一人は、心から兄弟を赦さないなら、私の天の父もあなた方に同じようになさるであろう。

マタイ伝18：23-35

私たちが霊的な死から救われて生きると罪を赦され、魂の重荷から解放されます。全く無条件の赦免を受けるのです。聖書のたとえにあったように、罪の借金の張消しです。しかし私たちに罪を犯した人には条件付の許しを要求します。聖書は、こう言っています。

私たちに負債のある者を赦しましたように、私たちの負債をもお赦してください。

マタイ伝6：12

このように祈るクリスチアンに条件があります。この主の祈りの後の14節に「もしも、あなた方が、人々の過ちを赦すならば、あなた方の天の父も、あなたがたを赦して下さるであろう。もし人を赦さないならば、あなた方の父も、あなた方の過ちを赦して下さらないであろう。」これはイエス様が言われたことです。私たちは救われて、罪を無条件に赦されたので、この聖句は、もし私に罪を犯す人を赦すならば、天の父も私を赦されるが、もし、赦さないなら、天の父も私の罪を赦さないと言っています。これは 条件付ではないですか？主はここでこう教えています。私たちは救われた時、罪の負債を赦されました。同じように私たちも、人の過ちを無条件に赦すのです。無条件に赦せる人にとって、「主よ、私が人を赦したように、私を赦してください」と祈ることは問題ありません。しかし、神に罪を赦されなっか者にとって、人を心から赦すことは難しいのです。この教えは大変重要です。私が赦したように、もしあなたが兄弟を心から赦さないなら、主もあなたを赦さないと、たとえ話にある負債のある僕について教えています。もしあなたが心から人を赦さないなら、天の父もあなたがに対してそのようになさるのです。つまり心から赦せない人は救われていないかもしれません。

もしあなたの兄弟が罪を犯すなら、行って、彼とふたりだけの所で忠告しなさい。もし聞いてくれたら、あなたの兄弟を得たことになる。もし聞いてくれないなら、他に一人二人を、一緒に連れて行きなさい。それは、二

人または三人の証人の口によって、全ての事柄が確かめられるためである。もし彼らの言うことを聞かないなら、教会に申し出なさい。もし教会の言う事も聞かないなら、その人を異邦人または取税人同様に扱いなさい。よく言うておく。あなたが地上でつなぐことは、天でも皆つなぐがれ、あなたが地上で解くことは、天でも皆解かれるであろう。また、よく言うておく。もしあなたがたのうちの二人が、どんな願い事についても地上で心を合わせるなら、天にいます私の父はそれをかなえてくださるであろう。二人または三人が、私の名によって集まっているところには、私もその中にいるのである。

マタイ伝 19 : 15 - 20

この聖句は、私たちが学んでいるたとえ話の前に書かれており、心からの赦しについてです。あなたの兄弟が罪を犯したなら、彼と二人だけで話さない。もし彼が聞いてくれたら、あなたの兄弟を得たこととなります。「いや、やってみただけ、彼は聞きませんでした。彼が私に罪を犯したので、怒って彼にそのことを言ったら、聞き入れませんでした。」それは、あなたに心からの赦しかなかったからです。多くの人がこの聖句を正確に理解していません。「私に罪を犯した人にそのことを言うても、聞いてくれるどころか、かえって怒って反抗するでしょう。」どうして彼は反抗するのでしょうか？彼は責められていると思うから、自己防御するのです。赦す心で接したら、相手もかぶとを脱ぎます。非難がましく、いらだって、責めていては、相手が聞き入れるはずがありません。相手が悔い改めたかに関わらず、まずあなた自身に赦す心があって彼の所に行き、心からの赦しをもって柔和に接するなら、兄弟を得ることが出来ます。それでも彼が聞き入れなかったら、一人か二人を連れて行きます、普通その二人は、一方の味方して相手を責めるようで、うまくいかない場合が多いです。各自が心からの赦しをもって接し、それでも聞き入れない場合、彼を教会に申し出なければなりません。教会の人々も赦しをもって接しなければなりません。教会は懲戒処分に従わない人を除名したりすることがありますが、懲戒処分の真の目的はその人を連れ戻すことです。教会を聞き入れなければ、彼を異邦人や取税人として扱いなさいと聖書にあります。主イエスはどのように彼を異邦人や取税人のように扱いなさいと教えているのでしょうか。先に読んだマタイ伝 5 章に天の父は悪い者にも、良い者にも同じように扱われますと書いてあります。敵を愛せと言われます。異邦人や取税人も同じように扱うことを教えています。たとえ彼が教会の交わりから外されても心からの赦しをもって接しなければなりません。この文脈でペテロは何回まで赦さねばならないかの質問をし、それがたとえの教えにつながっています。愛は悪いことを記録しません、いつまでも覚えません、数え上げません。夫婦間でよく言い争う言葉、「いつもこうで、変わった事がない、、、」と互いに責めます。過去のことを持ち出して責めるのです。心からの赦しがないからです。

主イエスが「あなた方が地上でつなぐことは、天でもみなつながれ、、、」とは何を意味しているのでしょうか？これは、教会が主の名による赦しを通して、つながれていることです。教会が聖書に従って懲戒処分を行えば、神の祝福が豊かにあります。教会がただ形式に従って行なうなら、神の祝福はありません。主イエスの愛に見習って、悔い改めない兄弟を赦しをもって懲戒するなら、神は天にて祝福されます。

多くのクリスチアンは「二人または三人が同意するなら何でも．．．」とこの箇所の文脈を誤解しています。この句は教会の懲戒処理に伴う兄弟への赦しに関することです。イエスが語られたたとえ話とペテロが「何回まで赦さねばなりませんか」の質問が関連しているように、二人または三人が主の名によって集まるとき主イエスは共におられ、つまり、罪を犯した兄弟を赦すことに関連しています。

恨みは人を赦すことが出来ません。相手の罪は見えても、自分は潔白と思うから苦い思いを抱くのです。ある意味では、赦しは一方的です。神は私たちが悔い改める前に、わたしたちを赦されました。神は天にいて、私たちが悔い改めるまで怒っておられません。神が私たちがまだ罪びとであったときに私たちの罪を赦してくださいました。同じように私たちも、私たちに罪を犯す人を一方的に赦すべきです。相手がわたしたしに言ったこと、やったことに焦点をあてがちですが、実際は、そうであってはなりません。

クリスチアンが心から人を赦すと、自分のことより、罪を犯した相手を思いやるようになります。しかし、ほとんどの場合私たちは、ペテロのように相手の罪を数え上げて覚えているのです。もし相手の罪を忘れず覚えているなら、あなたは心から赦していません。心から赦せない人には、神もそのように扱われます。

「でも、私は赦す心がないです。」と言います。赦しを必要としない人がいるのでしょうか？赦しを必要とする人は、心に苦い思いがあり、冷たく、恨み深く、意地悪な人です。このような人は他人を心から赦せず、主を心から賛美することは出来ません。人に恨みを抱いて、それでも教会に行って賛美歌を歌うことは出来ます。でもそれはうわべだけのことで、本心を偽っています。心から主を賛美出来ません。しかし心に汚れのない人は心から主を賛美します。クリスチアンの中には、歌っている間は心が弾むが、歌い終わったら心が沈む人がいます。そのような人にとって、悪いのは他の人たちで、自分はいい人と思っているのです。しかし、本当の原因は心からの赦しに欠けているからです。心から赦せる人には、相手の罪の大小に関わらず赦します。

しかし、ある人が罪の中に生きていて、それをあなたが認めないことであつたら、どうして赦していると言えますか。あなたがその人を心から赦しているのなら、それは問題ではありません。あなたの言い方や接し方で、相手は非難されてるとは感じず、揺るがない真実の中に、暖かい思いやりを感じるのです。人は敏感に愛が本物か偽物かに気づきます。見せかけの

愛ではなく、心から思いやりある人の言葉には触れるものがあります。彼は、今あなたの信仰を受け入れないかもしれませんが、あなたの行いに愛を見出します。

愛は時には、きびしい態度で臨みます。35年前のことですが、その年の3月に、信仰に導かれて高校2年生の学生が翌年信仰告白して、卒業後その夏私の家にしばらく住むようになりました。私の家族に部屋を空けてもらって、彼の荷物を運び込みました。子供たちを寝かせた後、彼にどうしているかと尋ねたら、彼はうまく言ってないと答えました。

「前と同じ問題か？」

「はい」

「同じ女の子？」

「はい」

「去年の三月に神様に罪を赦されて喜びをもう忘れたのか？」

「あの喜びと安らぎを忘れません」

「では、神様に罪を告白して赦して下さいように祈ろう。」

「いや」

「どうして？神様は、赦してくださいます。」

「わかっています。でも僕がそうしたくなるのです」。

「そう言わないで、神様に赦しを乞いましょう。」

「今そうしたくないんです。いつかあとで、、、」

「それでは、君が悔い改めないで罪の生活をしていることを教会に報告しなければならない。」

「僕が内密に言ったことを教会にもらすの？」

「君は僕に言ったことを内密にすべきとは言わなかった。内密にしないなら、悔い改めたことは無かったことにするのか？悔い改めないなら信仰の交わりから離れることになって、教会に報告しなければならないのだ。聖書に兄弟が性的な不品行に陥ったならどうすべきかと書いてあり、教会が直ちに処理します。」

彼は怒りました。

「その上、コリント人の手紙5章に不品行な兄弟と共に食事をしてはいけないとあります。君が改めない限り一緒に住むことも出来ない。神様に従わなければいけません。今夜はここにとまって明日までに君が悔い改めを拒むなら明日の朝ごはんの前に出て行きなさい。妻や子供たちに話してもいけません。」

彼はとても腹を立てました。

「君を憎んで言っているんじゃない。愛しているからこそ、こう言うんだ。この夏ずっとここに居て信仰の交わりをするか、それとも交わりから離れるなら、明日の朝食会に加わってはいてません。」

彼は、私が意地悪く言ってないことを知っています。私が真剣に彼の最善を願っていることも知っています。次の朝、彼は神との関係を正し、私の

家に夏中いました。真の赦しは厳しい愛の訓練を要します。本当の赦しは、聖書の規定に従います。
神との時間を持って、心を打ち明けて苦い思いから解放されて下さい。神はすぐにあなたを赦し、助けてくださいます。

人の怒り

ヘザー ウィルソン

なぜあなたは憤るのですか、なぜ顔を伏せるのですか。正しい事をしているのでしたら、顔をあげたらようでしょう。 創世記4：6

ドライブして、車を突撃されました。相手は16歳の若僧。無責任な若者に免許あたえて、ハイウェイを走らせる法律に苛立っている時、クリスチアンが来て、「怒り捨てなさい」などと説教されたら、それこそ頭にくることを私たちも経験しているところです。イエス様も怒って寺院の両替人を追い出したと書かれてあります。怒りを閉じ込めているより、怒りを晴らした方が心がすっきりします。自分を欺いて偽善になるより自分に正直なほうがずっといいです、、、と私たちは口実をつけ自己弁解して怒りを正当化します。もし誰かが神は私たちに怒りをもってははらないと教えていると言うなら、私たちはそれこそ神に向かっても怒るでしょう。

人によって、些細な事で苛立つ人がいます。たとえば、仕事に能率的じゃない人に苛立ち、誰かに駐車場を先に取りられて苛立ち、主人がソックスを脱ぎ捨てるのに苛立ち、妻の遅刻常習に苛立ち、、、人を苛立たせるのに限りありません。ある人はもっと道徳的なことに怒りを示します。世界的食料難、人口中絶、戦争、人権運動、人種差別などと人によって様々です。たとえ理由は異なれ聖書は怒りについて明確に言っております。

聖書の「怒ることがあっても、、、」（エペソ人への手紙4：26）を引用してある人々は怒りを正当化しますが、その後に「罪をおかしてはならない。」と言う箇所を無視しています。その後に「憤ったままで、日が暮れるようであってはならない。」と続きます。

他にも怒りについての聖句があります。「人は全て、聞くには早く、語るに遅く、怒るに遅くあるべきである。」激怒でないなら怒ってもいいんじゃないかなと思っている人もいます。しかし、次の聖句はもっと明るみに出します。「人の怒りは、神の義を全うするものではないからである。」

それでは、怒ってもいい、もし...

1. 罪をおかさないなら。
2. 怒ったままで日を暮らさないなら。
3. 人の怒りでなく、神からの怒りであれば。
4. 義を全うするのであれば。
5. 怒りがゆっくりくるのであれば。

これらの条件がそろえば、怒りも減少するのではないのでしょうか。イエスが宮を清めたときの怒り（マタイ伝21、ヨハネ伝2）を引用して、それを正当化しますが、私たちの怒りは神の義の怒りから到底かけ離れています。イエスの怒りは自分に関してでなく、神の宮の清めに関しています。

あなたの怒りがどんなであろうと、キリストはわかってくれます。「この大祭司は、私たちの弱さを思いやることの出来ないような方ではない。罪は犯されなかったが、全てのことについて、私たちと同じように試練に会われたのである。」

（ヘブル書4：15）。キリストは私たちの弱さを思いやられるだけでなく、試練に耐える恵みを授けて下さいます。

専門家は怒りを晴らすのは心理的にいいことと言います。怒りを閉じ込めていたら、胃潰瘍になると言うのです。もちろん私の怒りを晴らすことは出来ても、他の人が胃潰瘍になりかねません。もうひとつ解決法は、怒りを神に託することです。自分が怒っていることを認め、神の義をまっとうしない怒りは益にならないと自覚することです。そう告白することによって、怒りから解放される喜びを知り、周りの人にも喜ばれます。聖書はある特別な状況以外、怒りは愚かで罪なことであると教えています。怒り、激怒、悪意、悪口、下品な言葉を捨て去りなさいと聖書は言っています。（コロサイ書3：8）激怒はガラテヤ書5：20に肉の行いのひとつと列挙されています。「怒る人は争いを起こし、憤る人は多くの罪を犯す。」（箴言29：22）「…気の短いものは愚かさを表す。」（箴言14：29）箴言の書は怒りに関して多く書かれています。

怒りが悪であることに気づきましたが、ではどうしてそれから解放される事が出来るのでしょうか？先ず始めにその怒りがどこから来ているかを知ることです。

「善人は良い心の倉から良い物を取り出し、悪人は悪い倉から悪い物を取り出す。心からあふれ出ることを、口が語るものである。」（ルカ書6：45）この句が教えていることは、私たちの心の中にあるものが成果として私たちの生き方に証しされるのです。悪意に満ちた心からは、苦く冷たい人柄が表われます。そうであれば、二つのステップに従って下さい。まず始めに心を調べ探ります。詩篇にこう書いてあります。「神よ、どうか、私を探って、わが心を知り、私を試みて、わがもろもろの思いを知ってください。私に悪しき道の歩かないかを見て、私をとこしえの道に導いてください。」（詩篇139：23-24）次に全ての罪を隠さず神に告白します。「しかし、神が光の中にいますように、私たちも光の中を歩くならば、私たちは互いに交わりを持ち、そして、御子イエスの血が、全ての罪から私たちをきよめるのである。．．．もし、私たちが自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての不義からわたしたちをきよめて下さる。」（ヨハネ第一の手紙1：7, 9）主が宮の両替人を追い出してのように、あなたの怒りも追い出して下さいます。清められた心は良いことで満たされます。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあることなどと使徒パウロがピリピ人への手紙に書いてあるように心を新たにします。（ローマ書12：2参照）怒りを捨てる事があなたには不可能のことに思えるかもしれませんが、

神にとっては不可能なことはありません。「あなたがたを守ってつまづかない者とし、また、その栄光のまえにきずなき者として、喜びのうちに立たせてくださる方へ…アーメン」(ユダの手紙24)

注解：今の世の中は自己愛を強調する傾向があります。私たちの怒りは究極的には他人の事を思っているからでなく、自己愛に帰するのです。自分は良い人間で良い事をしたのに、こんな扱いを受けるに値しないと思って怒るのです。その怒りが激怒であれば、ガラテヤ人への手紙5：19-21に書かれてあるように生まれながらの悪い性質に従っているのです。主イエスに救われると、聖霊があなたの心を支配されガラテヤ人への手紙5：22-23に書かれてある霊の実を結んでくださいます。あなたが既にクリスチャンであれば、怒りを告白して神の赦しを祈るのです。

次のステップ： 御言葉への応対

怒りを心から神に託しあなたの罪を神に告白するなら、神はあなたの罪から清め、新しい心を授けて下さいます。あなたの怒りを直面してください。神にあなたの心と意思を探っていただきあなた自身の罪を隠さず現してしていただきます。神に正直にすべてを任せると、主はあなたをとこしえの道に導いて下さいます。

(詩篇139：24)

激怒

ジム ウィルソン

肉の働きは明白である。すなわち、不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、まじない、敵意、争い、そねみ、怒り、党派心、分裂、分派、ねたみ、泥酔、宴楽、および、そのたぐいである。

ガラテヤへの手紙 5 : 19 - 21

しかし、御霊の実は、愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、柔和、自制であって、これらを否定する律法はない。キリストイエスに属する者は、自分の肉を、その情と欲と共に十字架につけてしまったのである。

ガラテヤ人への手紙 5 : 22 - 25

私は怒りの恐ろしさを何回か見てきました。不貞な夫である牧師に対面した事があります。彼の娘を家に尋ね、私に向かってでなく、彼の妻と娘に激怒を投げつけました。彼がトレーラーの家を出た後も危険を感じたので、ドアを鍵でしめました。戻ってきて彼はトレーラーを揺り動かすほど激怒してドアをたたきました。彼は他の女と結婚し、後で後悔しました。何年か後、私の妻ベッチイーと一緒に訪ねたときその”他の女”が居合わせていました。彼女は怒り狂い、人こそ傷つけませんでした、車をいためました。彼女はクリスチアンではありません。またある時は私の書店に怒った男性が彼の妻を殺すと怒鳴り散らして来ました。彼の怒りが止むまで彼の妻を隠しておきました。彼はクリスチアンではありません。怒りは人間の罪のもたらす結果です。子供でも罪の本姓を表します。それを「かんしゃく」と言います。大人になるにつれ、「短気」と名を変えて言います。「自制をなくす」とか「爆発する」とか言いますが、同じ事です。言葉を変えて、遠まわしに言ってみても、本姓を偽って、罪の事実から逃げることは出来ません。人には「かっとなる」ことを自負する人もいます。彼の家族や友人は当たらず触らずで怒らせないようにと用心して接します。このような人は他の人を自分の意のままに恐れの人質にしているようなものです。彼の怒りが爆発しないようにといつも恐れているのです。

人の罪の性質と正反対なのは聖霊の実です。自制が怒りと全く正反対なことは明らかです。怒っている人は、自制心に欠けているだけでなく、愛、喜び、安らぎ、忍耐、親切心、善意、忠誠心、柔和心にも欠けています。怒りが他の聖霊の実を失わせています。霊に生まれ変わっていない人にとっては、怒りは生まれつきの

性質だからです。霊に生まれ変わった人にとって、怒りは普通な事として受け取れません。クリスチアンが怒るとしたらそこにはどんな理由があるのでしょうか。まづ始めにクリスチアンにとって、怒りの口実や言い訳はありません。卒直に言って、怒りを制御出来ない人は生まれ変わったクリスチアンではありません。しかし、もしクリスチアンが怒る場合はその人は悔い改めない罪が蓄積され、告白して神の赦しを受けてないので、誘惑に負けた敗北感が怒りに出てくるのです。この罪のわだかまりをこう記しています。

あなたの僕を引き止めて、故意の罪を犯させず、これに支配される事のないようにしてください。そうすれば、私はあやまちのない者となって、大いなるとがを免れることができるでしょう。 詩篇19：13

この聖句は過ちに陥らないようにと願う祈りです。怒りに任せている人はこうは祈りません。彼は肉の欲するままに任せ罪を犯します。今までの自分の罪を無視しないで告白し悔い改めねば、これから先も同じ罪を繰り返すだけです。自分の罪を軽視してはなりません。怒りに至るまでの過程で自分自身に故意の罪があったことを自覚しなければなりません。

このように、あなたがたはキリストと共によみがえらされたのだから、上にあるものを求めなさい。そこではキリストが神の右に座しておられるのである。あなたがたは上にあるものを思うべきであって、地上のものに心を引かれてはならない。あなたがたはすでに死んだものであって、あなたがたのいのちは、キリストと共に神のうちに隠されているのである。

コロサイ人への手紙3：1-4

コロサイ書のこの句は、からみつく怒りや他の罪から私たちを防ぐ基本的な教えです。

私たちの心は上にあるべき…
私たちの思いは上にあるべき…
地上のことであってはなりません。

あなたがキリストにあればこれは真実です。

あなたがたをキリストと共に甦らされ…
あなたがたはで死んであなたがたのいのちはキリストと共に神のうちに隠されているのである。
私たちのいのちなるキリストが現れる時には、
あなたがたも、キリスト共に 栄光のうちに
現れるであろう。

私たちの心と思いがキリストと共にあれば、この聖句に従います。

しかし今は、これらいっさいのことを捨て、怒り、憤り、悪意、そしり、口から出る恥ずべき言葉を、捨ててしまいなさい。

コロサイ書 3 : 8

神の子でない人はこの戒めに従いません。信者でなくても聖書は読めますが、それに従う事は不可能です。彼らは、神に悔い改めず、キリストを信じません。彼らも罪を悔い改めて、キリストに罪を告白し、自分の罪のためにキリストは死んでよみがえられた事を心から信じるのです。そして神を待ち望みます。

イエスは言われた。「こう、しるしてある。キリストは苦しみを受けて、三日目に死人の中からよみがえる。そして、その名によって罪の赦しを得させる悔い改めが…もろもろの国民に述べ伝えられる…」

ルカ伝 24 : 46 - 47

すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスを甦らせたと信じるなら、あなたは救われる... 主の御名を呼び求める者は、すべて救われる...

次のステップ： 御言葉への応答

あなたの人生で聖霊の働きを妨害しているのがないか反省しましょう。御言葉に生きるために神に捧げましょう。「私につながっていなさい。そうすれば、私はあなたがたとつながっていよう。枝がぶどうの木につながっていなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなた方も私につながっていなければ、自分だけでは実を結ぶことができない。」 ヨハネ伝 15 : 4

傷つけられる思い

ヘザー ウィルソン

ヤコブ書によると舌を制御出来る人は全身を制御出来る完全な人であると書かれています。多くの人は舌を制御できなく、言った事、言われたことで互いに傷つけ合っているのです。傷つけられるのは、言葉だけでなく、行いにも関しています。友人知人関係において、舌を制御するだけでなく、全身を制御しなければなりません。どういうわけか、私たちは傷ついた人より傷つける人を全面的に責めます。私は舌を制御しない人を弁解しているわけではありません。舌は制御すべきです。でもそれまで私は傷つかれる事に甘んずべきでしょうか？ 周りの人たちが舌を制御して完全になるまで、傷つかれるままにあるべきでしょうか？ どちらにしても良い結果をもたらしません。

私たちは傷つけられないように、他の人たちからいつも親切に扱って欲しいと願います。もちろん、それは現実的ではありません。傷つけられた人が強くなることです。*

私がここで指摘したいのはキリストの模範です。

彼は侮られて人に捨てられ、悲しみの人で、病を知っていた。
また顔をおおって忌み嫌われるもののように、彼は侮られた。
われわれも彼を尊ばなかった．．．彼はしえたげられ、苦められたけれども、口を開かなかった。 (イザヤ書53：3，7)

こんな境遇にあったら誰でも傷つけられたと思うのが当然です。もし私がこんなに扱われるのであれば、私は決して、1) 話してあげる、2) 助けてあげる、3) 赦してあげる 4) 死んであげる．．．などということは思いもよらないことです。もし主がこういう思いでわたしたちに接するなら、十字架にかからなかったでしょう。主は神としての全能の力を持っておられ完璧なお方です。

キリストイエスにあって抱いているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互いに生かしなさい。キリストは、神のかたちでおられたが、神と等しくあることを固守すべき事とはおもわず、かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死にいたるまで_従順であられた。
ピリピ書2：5－8_

私たちもキリストと同じ思いを持たなければなりません。

1. 自分の人格と権利を固守しないこと
2. 自己を無にすること
3. 僕として仕えること
4. へりくだること

私たちがこういう態度であれば、神に従う喜びのゆえに恥をもいとわないうで十字架を忍びます。(ヘブル書12:2) 普通私たちの近親にいる人たちから傷つけられることが多いにあります。他人であればなんでもないことが、夫、妻、友人、兄弟、姉妹間で傷つけあいます。私を愛しているなら、こんなひどい事を言えるはずないと傷つけられた思いに沈みます。言っている事をさらに分析してみると、私たちが誰のことを考えてるかが表れてきます。冷たいことを言う人の身になって役立ちという思いがあるのでしょうか?いいえ、かえって冷たい言葉に傷つけられた自分をいたわりたいと思うのです。つまり、私たちは自己中心的であって、周りの人が私をどう扱ってるかと考えるのです。

よく参照されるコリント人への手紙の13章に愛は自分の利益を求めない、苛立たない、恨みを抱かないとあります。私たちが傷つくのは心からの赦しがないからです。赦しは過去のことにはわだかまりを持ちません。エペソ人への手紙4章3節はよく引用されますが、なかなか実行しがたい聖句です。互いに情け深く、憐れみ深い者になり神がキリストにあってあなた方を赦して下さったように、あなたがたも互いに許し合いなさいとパウロは言っています。私たちは神に赦されたように人を赦さねばなりません。7たびを70倍 つまり、神の赦しは限りがない事を覚えておかねばなりません。あらゆる誘惑に逃れる道を備えてくれる神を思えば傷心に陥る事はありません。これは不可能だと言う人もありますが、神様は忠実に道を備えて下さいます。

*

強くなるという意味は見えない塀をたてて、傷つくことから防ぐ自己防衛法ではありません。それは人を硬く冷たくします。第一ペテロの手紙2:21にあるように、キリストを模範とするのです。傷つくことから守る手段は自己防衛なしで受け入れるのです。主イエスもそうられました。そのような人は硬い、疎遠感で人に応じず、柔和で自己防衛しません。最良の対策は、自分に閉じ込めないうで、心を開き人からの非難の言葉を受ける心構えでいると、傷つくこともないと思います。J.W.

次の段階：御言葉への応答

第一コリント人への手紙13:4-5を読んで考えてみましょう。愛は寛容であり、愛は情け深い。また、ねたむ事をしない。愛は高ぶらない。誇らない、恨みを抱かない。私たちがキリストを模範とするなら、主の力と恵みに満たされるように祈り願わねばなりません。そしてあなたに罪を犯す人達を心から赦し、神の愛を持って人に仕えねばなりません。

ニューヨークで嵐のため電信混乱で電話線がラジオ放送に混線し、最寄のラジオ放送局がある電話の会話のやりとりを、うかつにも全米に放送したたことがありました。

私たちは、誰しも人の噂話に耳を貸すものです。教会でも、これに関して無罪な人はないと言えません。

パウロはテモテ手第一の手紙 3 : 1 1 で陰口についてこう言っています。「女たちも、同様に謹厳で、他人をそしらず、自らを制し、すべての事に忠実でなければならない。」陰口は、女性にだけに限らず、男性にも言えることなので、パウロはテモテ第二の手紙でこう言っています。「終わりの時には. . . 無情な者、融和しない者、そしる者、無節制な者、粗暴な者、善を好まない者. . . 」2テモテ 3 : 3

「そしる」と言う言葉のギリシャ語の意味は「悪魔」と言う語彙から来ています。つまり噂話を告げる人は悪魔のメッセンジャーです。「そしる」とは悪口を言う事です。つまり、噂話は悪口を言う事です。人をそしる事は罪ですが、噂話はおうおうにして、軽く見逃す傾向があります。人のことを他の人に話すとき、次の四つのことを覚えて、それが人をそしっていないかどうかを吟味しなければなりません。

1. なぜ私はそう言うのか？

私が批判する動機は？私が言っている事は、その人の有利になることか、それとも不利になることか。教会の祈祷会で、ある人のために祈っているように見えても、実際は噂話になってしまう事があります。その人の動機をしっかりと見つめる必要があります。

2. この件にまだ別の見方があるのではないか？

陰口とは文字通り陰でささやくことで表に堂々と出ません。。うわさとは実証されてない話なのです。その話が実証されていないのであれば、それは噂話に過ぎず、真実ではありません。教会でささやく噂話は事実を知らない人が知っていると思って話す事から起こります。

3. その事をイエス様にも話せるか。

人のうわさを主にもらしたら、何と言われるでしょうか。主は、あなたが誰かの事を知っていてもそれがあなたと何の関係があるかと言われるでしょう。(ヨハネ伝 2 1 : 2 2) 主に言っているのが気まずいのであれば、他の人にも言うべきではありません。

4. 他人に告げることによって、それがその本人の励ましになっているだろうか？

チャールズ・スパージョンはこういいました。「噂話は、それを言う人、聞く人、うわさされている人を傷つける。」パウロもこう訓戒しています。

「悪い言葉をいっさい、あなたがたの口から出してはいけない。必要があれば

ば、人の徳を高めるのに役立つような言葉を語って、聞いている者の益になるようにしなさい。」（エペソ人への手紙4：29）

上記の四つの質問に照らして、それが噂話かどうかを吟味することが出来ます。それでも戸惑うのであれば、言わない事に越したことはありません。

噂話は、人の罪に心を奪われるだけでなく、教会に罪に侵入させ、人々の信仰を破壊させます。それを防ぐために、次のことを覚えましょう。はじめに、噂話を広めない事です。うわさは耳から聞いたことを口から出します。口を制御する事です。誰かのことを良く言えないなら、黙っていることです。次に、噂話に耳を傾けないことです。聞くこと自体が既に噂話に加担しています。あなたが聞く事をやめれば、うわさばなしの火も消えます。たとえ聞いたとしても、聞いた事をそのまま受け入れてはいけません。言われた人の立場を思って弁護すべきです。そしたら、噂話は消えます。噂話は根も葉もない事といわれています。往々にして、聞いている人が作り上げたうわさの話以外の何物でもないのです。とりわけ、教会内の噂話は苦い根が広まって、聖霊の働きであるリバイバルの妨げになります。それは蜂がさすように、人に毒を広め、教会の徳になりません。

最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて尊ぶべき事、すべて正しいこと、すべて純真な事、すべて愛すべきこと、すべて誉あること、また徳といわれるもの、賞賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。

（ピリピ人への手紙4：8）

次のステップ：御言葉への応答

日々、御言葉と祈りの時を持って、神と交わりの時を持つ事を望まれます。神と同じ心になるように聖霊があなたの魂と心と思いを強め、新たにしてくださるよう祈りましょう。あなたの言うこと、考える事すべてに、神の愛に従っていきましょう。

わが岩、わがあがないぬしなる主よ、どうか、わたしの口の言葉と、心の思いがあなたの前に喜ばれますように。（詩篇19：14）

内省

ジム ウィルソン

内省とは、自分の過去の行為や心境を振り返って思いめぐらします。反省の時を持って、過去に起こったことが現在にも及んでいることから、過去を振りかえって、これからの生き方を改めようとクリスチアンの間でもなされています。

内省は、さんさんと輝く太陽の下に歩くようでなく、あたかもろうそくのともし火で暗い牢獄への道を、過去に埋まった死骸にぶち当たったり、不気味なくもの巣をかき分けながら歩くようなものです。過去の死骸とは、私たちの過去にやった事、やられた事の恥じている事がらです。その中には、架空の思い出もありますが、どっちにしろ過去の思いの虜になって、すでに終わってしまった事をいつまでも繰り返し、過去の思いにおぼれている人もいます。かすかなひらめきのろうそくのともし火を頼りにでは恐ろしい過去を知り尽くすことは出来ません。心に喜びをもたらすどころか、ただそれは人を憂うつにするだけです。潔白な人、ふさぎこむ人は憂鬱症になりやすいです。

公平な裁き

内省は私たちの過去を告訴し、こんなひどい過去を神が赦すはずがないと自己非難します。内省は人を過去に閉じ込め、解放しません。責めるだけで、最終判決のないままです。法廷では、告訴と審判は、はっきり区別されています。検察官が告訴し、審判を下すのは裁判官です。検察官は有罪を追及し、裁判官は有罪の証拠を見極め、最終決断を下します。審判が下された後でも、検視官は容疑人を有罪と見ます。聖書にはサタンは告訴人で、聖霊は審判官と書いてあります。

完全な光

内省は否定的な結果をもたらしますが、聖書はのがれる道を備えています。「私たちがイエスから聞いて、あなた方に伝えるおとずれは、こうである。神は光であって、神には少しの暗いところもない．．．しかし、神が光の中にいますように、私たちも光の中を歩くならば、私たちは互いに交わりを持ち、そして、御子イエスの血が、すべての罪から私たちをきよめるのである。」

神の光は全ての光の源です。暗闇に揺れ動くろうそくの光の影がないのです。

「良い贈り物、完全な賜物はみな、上から、光の源とである御父から来るのです。御父には、移り変わりも、天体の動き生じる陰もありません。」（ヤコブ書1：17）

この完全な光の中を歩くなら、何も隠れることはありません。罪の告発でなく、裁きです。その裁きとは、イエスの血が全ての罪の代価を支払い、わたしたちは無罪とされるのです。私たちは罪を清められた時、神との交わりを得、神に従って光の中を歩きます。このように罪を清められて、神と交わりをもち、神に従って歩む事をイザヤ書6：1-8にこう書いてあります。

ウジャヤ王の死んだ年、わたしは主が高く上げられたみくらに座し、その衣のすそが神殿に満ちているのを見た。その上にセラビムが立ち、おのおの六つの翼をもっていた。その二つをもって顔を多い、二つをもって足をお

おい、二つをもって飛びかけり、互いに呼びかわして言った。「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主、その栄光は全地に満つ。」その呼ばわっている者の声によって敷居の基が震い動き、神殿の中に煙が満ちた。その時わたしは言った。

「わざわざなるかな、わたしは滅びるばかりだ。わたしは汚れたくちびるの者で、汚れたくちびるの民の中に住む者であるのに、わたしの目が万軍の主なる王を見たのだから。」この時セラビムのひとりが火ばしをもって、祭壇の上から取った燃えている炭を手に携え、わたしのところに飛んできて、わたしの口に触れて言った、「見よ、これがあなたのくちびるに触れたので、あなたの悪は、除かれ、あなたの罪は赦された」。わたしはまた主の言われる声を聞いた、「私は誰を遣わそうか。誰がわれわれのために行くだろうか」。その時わたしは言った、「ここ私がおります。私をおつかわしてください」。

内省によってイザヤは罪を意識したのではなく、神の御前に出る事によってです。彼は光の中にいたのです。神の栄光の前に出て罪を隠しておくことは出来ません。罪びとは神の存在から隠れる事が出来ないのです。人は罪を告白すると、赦しを得、神に従って生きます。

そんなに簡単に罪を赦される事ない言うかもしれません。それはあなたが神の裁きに神の赦しを見出すのではなく、罪の告発を感じているからかも知れません。

光に歩く

過去のことについていつまでも思いを奪われる事をやめて、その代わりに光に近づく事です。それは、どういう意味でしょうか？詩篇139：23-24にあるように祈るのです。「神よ、どうか、私を探ってわが心を知り、わたしを試みて、わがもろもろの思いを知ってください。わたしに悪しき道のあるかないかを見て、わたしをとこしえの道に導いて下さい。」内に閉じこもらないで、上を見上げなさい。過去の罪を自己憐するのではなく、神にあなたのあるがままを隠さず打ち明け赦しを乞い願います。神様が全ての罪のあがないをなされました。罪が赦され事は、罪を隠す事ではありません。内省は、過去の苦い思いから解放されず、将来の不安を募らせます。パウロは、「後ろのものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、目標を目指して走りキリストイエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。」イエス様もこう言いました。「明日のことを思いわずらうな。明日の事は、あす自身が思いわずらうであろう。一日の苦労は、その日一日だけで十分である。」過去の事が赦されたのであれば、過去のことを忘れることは、罪を隠す事ではありません。

光の中を歩むことは現在時制であって、過去や将来に思いをめぐらす事ではありません。罪の告発人でなく、公正な審判官に信頼を置きます。罪を清められ、心から神に従っていきます。

次のステップ：御言葉への応答

あなたの過去にやった事、やられた事、恥ずべき事をどう処理してきましたか考えてみてください。キリストあがないの血によって清められる赦しを乞い、過去

の全ての罪を神にゆだねましょう。神の光の中を歩みキリストに従った人生を生きる事です。「兄弟たちよ。わたしは既に捕らえたとは思っていない。ただこの一事を努めている。すなわち、後ろのものを忘れ、前の者に向かってからだを伸ばしつつ、目標を目指して走り、キリストイエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。」（ピリピ書3：13）

両親との関係

ジム ウィルソン

多くの公演の中で、とりわけ老若男女に効果的に受けられた二つの公演は「苦い思いからの解放」と「両親との関係」でした。イリノイ大学で50人の学生が主席しました。全く予期しなかったショック、反抗、不信感が涙を流しながらの真剣な質問、会話に変わって行きました。その事をここに筆記しました。旧約聖書を引用し、それを人生にどう応用するかを話したいと思います。

あなたがたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。上は天にあるもの、下は地にあるもの、また地にあるもの、また地の下の水の中にあるもの、どのような形をも造ってはならない。それを拝んではならない。またそれに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神であるから、わたしを憎む者には、父の罪を子に報いて三、四代に及ぼし、わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には恵みを施して千代に至るであろう。

申命記5：8－10

しかしあなたがたは、「なぜ、子は父の悪を負わないのか」と言う。子は公道と正義とを行い、わたしの全ての定めを守って行ったので、必ず生きるのである。罪を犯す魂は死ぬ。子は父の悪を負わない。父は子の悪を負わない。義人の義はその人に帰し、悪人の悪はその人に帰する。

エゼキエル書18：19－20

申命記5：10に「わたしを憎む者には、父の罪を子に報いて三、四代に及ぼし」と読む時、わたしたちはこれは、公平でないと判断します。しかし、エゼキエル書の18章を読むと子は父の罪の責任を問われません。それでは、第二の戒めは何を言っているのでしょうか。罪は数代にも及ぶと書かれています。9節の後を読んでいくと、「わたしを愛し、わたしの戒めを守る者には恵みを施し千代に至るであろう。」とあります。この書の二章後にこう読みます

あなたの神、主は神にましまし、真実の神にましまして、彼を愛し、その命令を守る者には、契約を守り、恵みを施して千代に及ぶ。

申命記7：9

神を憎む罪は報いが三、四代にも及び、神を愛し戒めを守る者は恵みが千代にも及ぶとあります。こんな会話をよく聞きます。「わたしの父（または母）みたいな人間に絶対なりたくない。わたしは、クリスチアンになって、クリスチアンと

結婚する。わたしはクリスチアンになって、クリスチアンと結婚したが、わたしの両親のように同じまちがいをしている。わたしが二代目であるなら、これからうまくいくまであと二代を待たなければならないのか。」待つ必要はありません。あなたの両親や祖父母との関係を改めない限り、二代を待つことになります。クリスチアンになったからとか、聖書を読んだからと言って、あなたとの関係が変わるわけではありません。自分の家族だからと言うので、わたしたちは、かえって、気ままに振り舞い、家族との関係を悪化することがあります。

紀元400年ぐらい前に預言者マラカイが旧約聖書にこう言っています。

見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなた方に遣わす。彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる。これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである。

マラカイ4：5－6

天使ガブリエルがこの預言をルカ書1：17でこう言っています。

彼（ヨハネ）はエリヤの霊と力とを持って、御前に先立って行き、父の心を子に向けさせ逆らう者に義人の思いを持たせて、整えられた民を主に備えるであろう。

神ののろいを避けるには、心を悔い改めることから始まります。クリスチアンの両親であれば、彼らの両親そして、子供たちとの関係を改めます。この世代を述べてある十戒を読んでみましょう。

あなたの神、主が命じられたように、あなたの父と母とを敬え。あなたの神、主が賜る地で、あなたが長く命をたもち、幸いを得ることのできるためである。

申命記5：16

要約すると：

1) 神を愛する（申命記5：9）、2) 神の戒めを守る（申命記5：9）、3) 父と母とを敬え（申命記5：16）、4) 心を父に向ける（マラカイ書4：5－6）

神の十戒を従わなかったため、わたしたちは、三、四代の世代にいて、地上の生活も長く、幸せではありません。（エペソ書6：1）地上はのろいによって危険にみちています。マラカイ書は心を悔い改め、今までの生き方から離れよと呼びかけています。

どうしたら悔い改めて、1) 神ののろいを避け、2) 充実した人生を送り、3) 三、四代の悪い世代から良い千代に変える事が出来るかを考えてみましょう。まず始めに、悔い改めたからと言うので、良い人生が自動的に保証されるというわけではありませんが、悔い改めは重要な事のひとつです。

1. クリスチアンになる事です。キリストを受け入れなければ、神を愛し従う事は出来ません。

2. クリスマンと結婚することです。信者同志の結婚でないと、生まれてくる子供が信者になる確証がありません。
3. 結婚の誓いをまっとうします。「結婚している者たちに命じる．．妻は夫から別れてはいけない．．．また夫も妻と離婚してはならない。」
(第一コリント7：10，11)

この三つを無視したら、もっと多くの悪い世代が増えていきます。悪い世代がすぐ無くなるわけではありません。なぜなら、前の世代があなたとあなたの子供の世代に影響します。両親から独立して、結婚しても、あなたの心は両親に向かっていないのです。それが改善するまで、まだ悪い世代が続きます。あなたの心があなたの父に対して向かっていないなら、あなたは、良い夫や父親になれません。あなたの父親に心を向けるのに、次の四つ要因が必要です。父親に福音を説教してはいけません。そんなことすれば、ただ親の権威をそこなうだけです。その代わりに、この四つ要因を含んだ手紙を書くのです。

1. あなたの父親に反抗した事を神に告白するなら、何の弁解や言い訳なしに自分の父親にも赦しを請えます。
2. あなたの父親を尊敬している事を告げます。もし尊敬していないなら、正直に書けません。でも書かねばなりません。どうやって？まず、父親に対する尊敬の念の無い事を神に告白します。聖書に父と母を敬いなさいとあります。尊敬に値するなら、そうしなさいと書いてはありません。父であること自体、尊敬に値します。それは神が命じた事ですから、どうしようもありません。これは 母親にも同じ事を要求されます。神の戒めを破る罪はなんでも赦されますが、悔い改めが必要です。

親を尊敬せず、迷惑をかけてきたことを神に素直に告白すれば、必ず赦されます。その人がどれだけ神との親しい関係にあって、神に従っているかにかかります。神を知っている人は、心からその事を書けます。

- 3・第三の項目には、あなたが、どれだけ彼を愛しているか知らせる事です。「父は何もしてくれなかったのに、どうして愛していると言える」と思うかもしれません。

もちろん彼は親として、子供を愛すべきでした。でも過去に戻って、やり直すことは出来ません。過去の事を悔やんでもしょうがありません。現在の段階で対処しなければなりません。あなたは、もう大人です、そして、クリスマンです。もしあなたに赦す心がなければ、クリスマンでないかも知れません。クリスマンであれば、心から赦せないことを神に告白しなければなりません。神は私たちが他の人たちを愛する事を命じています。親族、そしてあなたの敵をも愛せよと言っています。あなたの父親はもちろんの事です。父親への幸せを祈る事によって愛を示し、その事を書きます。

4. 次は彼に感謝の思いを知らせるのです。もしそういう思いがないなら、尊敬や愛についてと同じように、神に告白して祈ります。

次に挙げる二つは尊敬をどう示すかについての具体例です。

1. あなたの父親の人生話についてたずねます。もし書くのがいいなら、書いてもらい、話すのがいいなら、そうしてもらって下さい。言いたがらないかも知れませんが、あなたが、彼の人生に興味をもったことをきくと喜ぶでしょう。
2. アドバイスや相談に乗ってもらいます。一般的なことや、もっと具体的なことをたづねるのです。これは、親にとってうれしいことです。

母親にも同じような手紙を書くことです。このよう手紙は 何回も読まれ、絶対捨てられることはありません。そのうちに、両親から返答の手紙が来るかもしれません。

心と態度の二つの問題があります。あなたの心が肝心です。思いやりの無い、親孝行でない、感謝の無い心は悔い改めなければなりません。そうしなければ、書いた手紙も偽善に過ぎません。悔い改めて初めて誠実な手紙が書けます。返答の手紙を期待しないで、手紙を書き、電話して、家に訪ねてあなたの心を態度で示します。その過程で、あなたが変えられるのです。あなたが、もっと良い夫、息子、そして、良い父親になり、また良い妻、娘、そして、母親になって行きます。神への愛と献身が千代も続いていくでしょう。

次のステップ：御言葉への応対

恨みや怒りを忘れる事が出来なかった事を思い出してごらん下さい。恨み、怒り、不正の思いを神にゆだねて、悔い改めるのです。悔い改めの証として、学んできた四つの項目を含んだ手紙を書きましょう。「あなたは知らねばならない。あなたの神、主が神であり、信頼すべき神であることを。この方は、御自分を愛し、その戒めを守る者には千代にわたって契約を守り、慈しみを注がれる．．．」

(申命記 7：9)

あふれる愛

ジム ウィルソン

神は愛せよと命じています。この戒めは妻、兄弟、隣人、外国人、そして、敵に対してです。神の愛とは、イエスキリストが私たちの罪のために死なれた犠牲の愛、与える愛です。この愛は私たちの救いのために成されました。愛はそれを受ける対象と実践を必要とします。「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。」（ヨハネ3：16）この世が愛の対象になり、与える事が神の愛の表現でした。この愛は世の全ての罪を担い、十分に完全なものです。「しかし、罪の増し加わったところには、恵みもますます満ちあふれた。」（ローマ書5：20）愛すると言う戒めを守る事は、神がわたしたちを愛したように、わたしたちも隣人を愛するのです。それは、無条件に尽くす事です。相手の必要を満たすまで惜しまず与える愛です。相手からのお返しを期待する愛であるのならあなたは、そのうちに愛想を尽かします。しかし、その愛が聖霊の働きであるなら、愛は尽きることがありません。この原理を子どもの教育について考えて見ましょう。子どもを育てるのに、聖書の教えは大変重要です。

1. 不従順への対処
2. 不従順に対処する鍛錬の欠陥
3. 教育の不効果
4. 兄弟間の嫉妬やライバル意識
5. 泣いたり、かんしゃくを起こして周りの注意を引こうとする。
6. 情緒的不安定感で大声で話したり、皮膚病、肥満症になったり、身体を傷つけたりする。

これらの事について多くの児童心理学専門家が書いた本があります。ここで、私はある愛について話したいと思います。それは、子供に全面的な時間と注意を払う事です。あふれる愛とは、文字通り、十分以上の愛です。飽和状態にある愛です。相手の必要をあふれるほど満たすまで愛し尽くします。私は、聴取者に両親に愛されていると思っているかと尋ねたところ、95%の人たちが手を上げました。その人達にその愛は十分であったかと聞くと、半分の人達が手を上げます。その人達にもっと愛されたいかと聞いたら全部の手が上りました。みんながもっと愛されたいと思うのが当然です。両親の愛が十分出ないと、どんな結果になるのでしょうか？両親の愛が十分でない事と、子供の不従順は直接比例しています。

*

たとえ親が熱心に子供をしつけても、子供が愛されていないと思っているなら効果がありません。子供は「怒られた時だけ親は私をかまってくれる。」と知っているのです。不従順な行為で子供は親の注意を引こうとするのです。子供を十分に愛さなかったら親の教育も効果ありません。兄弟間のライバル意識や嫉妬は子供への愛と反比例しています。子供がそれぞれ十分に愛されているなら、兄弟げんかも少ないのです。不従順、嫉妬、かんしゃくなどと言うものも少なくなり

ます。その上、十分に愛されている子供たちは素直に信仰を受け入れ、クリスチャンになります。

「それとも、神の慈愛があなたを悔い改めに導くことを知らないで、その慈愛と忍耐と寛容との富を軽んじるのか。」　ローマ書 2 : 4

私たちが罪人であった時、私たちを悔い改めに導くために、神は大いなる愛と忍耐とを持って応じられました。私たち親も神の愛に習うべきです。ともすれば、私たち両親は泣く子を無視して抱いてあげません。悪い癖が付くと思うからです。悪い癖をつけるのではなく、かえって、矯正するのです。子供の行動に振り回されるのではなく、その行動の裏に隠れた真の欲求を満たすのです。子供は自分の欲求不満を大人より敏感に、また正直に知らせます。子供が泣きべそかくのは、親の愛と関心を引こうとしているのです。赤ちゃんが泣くと親はすぐ注意を払います。赤ちゃんはお腹すいてないし、おしめも変えてあり、病気でもないのに、別になんでもなくても泣きます。それでも親は注意を払います。でも子供が、2歳、3歳あるいは、9歳、10歳だったら、同じような注意を払いません。子供が親の注意を引こうとするのは、子供が十分に愛されていると思っていないからです。子供の欲求が十分に満たされていれば、親の関心を引こうとしません。（また一方、欲求の満たされない子供の中には、親の関心を引こうとしない子供もいます。おとなしいので、親の愛をもっと欲しいところですが、ほとんど関心を払われままで済まされる場合が多いのです。）

ここで問題になるのは、親が余り無関心なので、子供がそのうちに親の関心を引こうとするのをあきらめることです。子供の関心を引こうとする行為を無視すれば止めるだろうと思って、子供の内に潜んでいる不満を満たさないままでいるのです。もしこの段階で、子供の欲求が満たされていれば、子供も安定感を得て、成長するにつれ、親の関心を引こうとしなくなります。これは子供が親に素直に従っていくのに重要はことです。

数年前、腕や手にいぼが広がった子供に会いました。父親が彼にいぼが無くなるように祈ろうと言ったら、「いや、これは、僕のあそび友達だから．．．」と答えました。父親はいぼが子供の不安定な心理から来ていること、その不安定は親の愛の欠如にあることを知っていました。父親は、もっと息子を愛する事を決心しました。しばらくして、息子のいぼは無くなっていきました。

またある時、四人の幼児を持った若い夫婦に会った事があります。子供は1歳、二歳、三歳、四歳の年齢でした。ある日、夫婦が私を訪ね、一番年上の子供が問題があり、どうしていいかと相談に来ました。

- 1) 毎日彼は下の兄弟を打ち、その度に、親に怒鳴られて、おしりをたたかれてても、その行為をやめないこと。
- 2) その度に彼は顔面の皮膚をかきむしって、赤くなるほどになっていること。

親がたたいてしつけても効果なく、その子供の行為を止めることが出来ず、両親とも途方に暮れたのは言うまでもありません。そのうちに、私は両親に言いました。

「この次、彼が弟をたたいたら、彼を抱き上げてごらんなさい。」

「そうしたら、悪い行為を強化することになります。」

「いや、そうじゃない、彼はどうやって両親の注意を引こうかとためしているのです。「彼は弟たちが生まれる度に自分への両親の関心が奪われたと思っているのです。関心を得ようとして、悪ふざけに走っているのです。それで弟をたたいて、親の関心を得ようとしたり、欲求不満が皮膚をかきむしったりしているのです。彼にあふれるほどの愛を浴びせたら、彼の皮膚もよくなるし、数週間のうちに、弟をたたくこともないでしょう。」

「そんな事出来ません」と母親は反対しました。

「どうして？」

「あの子に愛想尽かしているの」

彼女はその罪を告白し、悔い改め、彼を愛することに努めることにしました。結果は期待した通りでした。

またある時12歳の男子の父親が相談に来ました。親は子供のしつけに常に気を配っているが、効果が無くどうしていいか迷っていました。息子は友たちも無く、他の仲間ともうまくゆかないとの事でした。両親は息子のことに関心を示し、理解しようと努め、しつけも怠らないように頑張ってみたが、それでも息子の行動をかえる事が出来ませんでした。私は父親に息子を**愛過ぎることはない**と言いました。父親は息子のためなら何でもする覚悟でしたので、これからは些細な事を批判せず、愛を表現することに努めると言いました。父親は息子を親僕会に連れて行って、二時間ものドライブの間ずっと息子をひざに抱いて、会合でも彼を抱いて座りました。帰宅してから、しばらくして母親が息子の態度が変わってきたのに気づきました。素直になって、仲間ともうまくいくようになったとの事です。

多くの家族問題の相談にのったうち、頻繁に聞くことは、「私は父が謝るのを聞いたことが無い」と言う事でした。家族みんな彼が間違っていると知っており、神も知っており、彼自身も知っているのに謙虚に謝れないのです。これを読まれる人の中に、もう成長して家にいない子供を持った親もおられるでしょう。子供たちが家にいたころ、十分な愛を与える事が出来なかったかもしれません。そして今、彼らのいろんなトラブルで悩んでいるかもしれません。あるいは、現在 家において、子供の不品行を悩んでいるかもしれません。親としてどうすべきでしょうか？まず最初に神にあなたの全ての過ちを告白することです。大まかでなく一つ一つ具体的な誤りを認めるのです。しつけが厳しすぎた事、批判しすぎた事、子供の欲求を無視した事、馬鹿にした事、苛立って、怒鳴った事、不平等に扱ったこと、十分な愛を尽くさなかった事などが掲げられます。神に告白したあと、同じ事を子供にも手紙に書きます。今でも心に残って、覚えている事があったなら、それもついでに書き入れます。

同様に子供たちにも、何か過去の事で傷ついたことがあれば、あなたの親の事で今でも傷ついて悩む事があるように、心から打ち明けてもらうことです。彼らの言うことに自己弁明したりせず、聞き入れることです。「神の御心に添うた悲しみは悔い改めに導き、この世の悲しみは死をきたらせる。」

(第二コリント書7：10)そして、いろいろな面で愛を示します。もしあなたの子供がまだ家にいるのなら、いっそう愛を持って接し、また手紙を書きます。

手紙の重要性は：

- 1) あなたの心の中を中断無く打ち明けられるます。
- 2) 手紙は後で何回も読みかえす事が出来る。
- 3) 手紙は保官できる。

子供たちは男女とも、それぞれ両方の親からの愛を欲しています。離婚している夫婦は、むづかしいかもしれませんが、必要なことです。子供の愛を引こうとして、前の夫や妻を悪く言ったり、子供の愛を買いとったりすることは逆効果です。それは、本当の愛ではありません。

子供への愛を示すひとつの例は**夫婦間の和**を保つことです。夫婦喧嘩は子供の心理を恐れさせ不安定にします。もし口論する事があれば、子供たちに**聞かせ**てはいけません。もし過去に子供たちの前で夫婦げんかをした事があったなら、神に告白して赦しを願い、同じように配偶者や子供たちにも赦してもらい、その罪を悔い改める事です。

*子供は生まれつき罪の性質を持っています。この罪の性質が子供の不従順に表われますが、霊的な改心でこの性質も変わってきます。改心の前後の不従順は愛の欠如に関わっています。

次のステップ：御言葉への応答

告白しない罪は私たちの人生で神や他の人との親しい交わりから疎遠させます。私たちは罪を犯したら神に告白して、赦しを得、神の助けによって、罪から退きます。神は私たちの罪を互いに告白する事を求められます。へりくだって、配偶者や、子供たちの赦しを求めるのです。「互いに情け深く憐れみ深い者となり、神がキリストに会ってあなた方を赦してくださったように、あなた方も互いに赦し合いなさい。」(エペソ人への手紙4：32)

女性にとっての安らぎ

ジム ウィルソン

女性が愛され、守られ、扶養され、安定を求めることは神が定めた事です。しかしながら、多くの女性にとって、これらの必要性は満たされていません。安心感は往々にしてその事実の客観性や、感覚の主観性に作用されます。それはどういう意味かと言うと、ある女性は両親、夫、子供、衣類、食物を無くしたとしたら、客観的には不安定であるはずだが、主観的には不安定に思っていないかも知れません。もちろん、不安を感じ、その欠如を満たそうとします。例えてみましょう。ある人はひどく不安を感じます。その強い感情が、それを事実と確信します。女性が真に必要としている事はその空虚を満たされることです。彼女は男性がそれ

を満たしてくれると思うのです。ある面では、それは正し事ですが、彼女はその思いを十分満たしてくれる男を見つける事が出来ません。無理なことです。なぜなら、男性も空虚な思いを満たしてくれる女性を探しているのです。満たされない、不安定な二人がお互いの必要を満たし合えると望んで、結婚します。女性は赤ちゃんが生まれたら、満たされると思います。それは一面あります。女性は母親のなる事に生きがいを感じますが、もともと不安定な彼女は育児に振り回され、子供が何人もいれば、彼女はくたくたに疲れ、いっそう不安感が募ります。そのうち素敵な家、家具があれば心が満たされると望みます。そのうち夫の給料では足りないので彼女も働きます。それでも心が満たされず、疲れ、苛立って、ファッション、ミュージック、パーティー、そして他の男性にあこがれたりします。夫はもう愛想尽きてかまってくれないと思うのです。

これは、私が相談を受ける女性の言ってる事です。その中には何回か結婚して、今は、他の男を同棲している人もいます。ある女性は物質主義に身を振り、そのうち、後で後悔して、男性、子供、素敵な家、物質、社交などと言うものが心を満たさないことに気づきました。自分の欲求を満足させる利己主義な人はどんな事をやっても決して満たされることが出来ません。我がままな人は自分の魂を枯らし、自分自身を滅ぼします。周りの人や境遇に頼るのでなく、利己的な自分を悔い改めなければなりません。神につながっていれば、決して不安心に陥ることなく、神からの喜び、心の安らぎ、そして罪からの解放感を体験します。彼女の人生も変えられ、新たな家族関係の親密感を得ます。信仰の仲間としてのクリスチアンの兄弟姉妹を得ます。キリストにあっての愛は犠牲的で、お返しを期待しません。現在の夫に愛を尽くすことです。未婚であれば、未来の夫に夢かけるのではなく、現状の位置に満足する事を学べば、結婚しても、しなくても幻滅感に嘆く事はありません。愛は条件つきあってはなりません。「もしこうであれば．．．私は愛せる．．．」と言う態度であってははいけません。その愛は誰にでも優しい言葉をつかい、喜んで手伝う態度で接することです。

なぜなら、キリストの愛は私たちに強く迫っているからである。私たちはこう考えている。一人の人は全ての人のために死んだ以上、全ての人が死んだのである。そして、彼は全ての人のために死んだのは、生きている者がもはや自分のためではなく、自分のために死んで甦った方のために、生きるためである。 第二コリントへの手紙5：14－15

女性にとって最終的な目標は慎み深く、信仰と愛に生きることです。子供や孫を愛し、よい家庭を築くことです。こうして生きる女性には、神は「よい忠実な僕よ、よくやった、主人と一緒に喜んでくれ。」と言われます。

女性にとって、最終的な安心感はキリストにあって得られます。つまり、キリストに生きることによって得られます。キリストをあなた自身の救い主と信じて、死から生に移される事です。これは、男女に関わらず、誰にでも与えられ安らぎです。

信仰への導き：女性はどうして安らぎを得られるか？

私の神は、ご自身の栄光の富の中から、あなた方の一切の必要を、キリストイエスにあって満たして下さい。ピリピ書 4：19

1. 次の聖句は心の安らぎについて何と書いていますか。

申命記 33：12

詩篇 4：8

箴言 29：25

1ヨハネ 5：18

2. 満足について聖書は何と書いていますか？

箴言 30：15－16

伝道の書 5：10

詩篇 103：5

イザヤ 53：11

何事も 党派心や虚栄心からするのでなく、へりくだった心を持って 互いに人を自分より優れた者としなさい。ピリピ書 2：3

3. どうして利己心を取り除く事ができるか？

4. どうしたら安心感を得られるか？(ヤコブ 3：13－19)

次のステップ：御言葉への返答

あなたの人生に利己的な苦い思いがあり、キリスト習うのに妨げになっていませんか。御言葉に従って歩むように神の助けと知恵を求めてください。

求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見出すであろう。門をたたけ、そうすれば、開けてもらえるであろう。全て求める者は得、捜す者は見出し、門をたたく者はあけてもらえるからである。

(マタイ伝 7：7－8)

責任感のある男性

ジム ウィルソン

クリスチアン、非クリスチアンに関わらず、男性に欠けているのは、誠実心です。それは、正直、道徳心、潔癖、公明正大、自ら責任を全うする人柄です。責任感のある人は利己的ではありません。反対に利己的な人は無責任です。キリストを受け入れた人は、責任感のある人であるべきです。

神は、国家の首相、総督知事、雇い主、夫、父親にそれぞれ責任をゆだねられました。

彼らは神に責任を問われます。責任に怠っている事があれば改めねばなりません。これは男に課せられたことです。

この世は男性が力強く酒飲みで、スポーツマンで、猟がうまく、拳銃がうまく、性的で、権威があるイメージを描きます。これらのイメージを強調することは、真の男性としての責任感覚からずっとかけ離れています。

創世記 3 : 12 で、アダムは神に責任逃れをしたと書いてあります。

私と一緒にして下さったあの女が、木から取ってくれたので、私は食べたのです。

アダムは女と神を責めました。神は創世記 3 : 17 でこう答えられました。

更に人に言われた、「あなたが妻の言葉を聞いて、食べるなど、私が命じた木から取って食べたので、地はあなたのためにのろわれ、あなたは一生、苦しんで地から食物を取る。

それ以来、夫は妻、子供、上司を責め、自分の責任を逃避してきました。アブラハムも無責任をしでかしました。

エジプトに入ろうとして、そこに近づいた時、彼は妻サライに言った、「私はあなたが美しい女であることを知っています。それでエジプト人はあなたを見る時これは彼の妻であると言って私を殺し、あなたを生かしておくでしょう。 創世記 12 : 11 - 13

妻が美しいので、アブラハムは自分は殺されると恐れたのです。彼女は自分の妻でなく、妹であると偽ったのです。パロは彼女を召しいれ、アブラハムを待遇し金持ちにしました。パロがアブラハムの妻を召しいれたので、神は激しい疫病をパロの家に下されました。パロはサライがアブラハムの妻である事を知った時、彼女を返し、アブラハムを追い出しました。それから 20-25 年後、別の国の王にまた、嘘をつきました。アビメレクは、サラを召しいれたが、神はサラを守り、アビメレクに彼女は人の妻で、彼女にさわったら殺されると言いました。それで、彼はサラに近づきませんでした。創世記 20 章を読んでください。この無責任さはイサクにも受け継がれました。彼は同じ王にレベカの事で嘘をつきました。

信者でないこの王はアブラハムやイサクよりずっと良心的で、信者なる者の責任の無さを軽蔑しました。(創世記26) サラやレベカは、弱く、潔白です。無責任は特殊な罪です。自分の誤りを他人に押し付けるからです。無責任は嘘付いている事と同じです。自分を守るための自己防衛で、極端な利己主義です。子供を生ませて父親としての責任を拒否したり、育児費用を払わなかったり、母親に暴力を犯したり、ののしったり、危険にさらせて、家族を守る事を無視する男親が多くなりました。

次に挙げるのは聖書に記された責任感のある男たちの模範例です。

ヨハネ伝4：46-53にある役人

使徒行伝10章にあるコネリアス

使徒行伝16章にあるピリピの獄吏

1コリント9章，2コリント8章のパウロ

これに加え、民数記30：6-8に妻や娘に対しての責任について書かれています。権威と責任は切り離せなほど重要な事で、どっちかが欠けていると、周りの人々に傷害を与えます。

例えば、子供のあそびに例を見ましょう。一人が権威を主張し、ボスになりたがりやります。何か問題が出てくると彼は他の子を買めて、逃げて、責任を負うと言うことを知りません。これは子供に限った事でなく、歴史上でも、国家の首脳が権威を乱用して責任を逃れる例がかなりあります。大統領になると権威も世界的になりますが、かつて、アメリカのトルーマン大統領が「責任をなすりつけるな」と言った事がありました。彼は大統領の権威を行使しましたが、責任も負いました。クリントン大統領は権威を乱用し、責任逃れをし、他人を買めました。彼は責任感のある夫、父親、知事、そして大統領ではありませんでした。クリスチアンは夫、父親、地域社会の指導者として権威を乱用する人になってはいけません。夫として：

夫たる者よ。キリストが教会を愛してそのためにご自身をささげられたように、妻を愛しなさい。キリストがそうなさったのは、水で洗う事により、言葉によって、教会を清めて聖なる者とするためであり、また、しみも、しわも、そのたぐいのものが、いっさいなく、清くて傷の無い栄光の姿の教会を、ご自分に迎えるためである。それと同じく、夫も自分の妻を、自分のからだのように愛さねばならない。自分の妻を愛する者は、自分自身を愛するのである。自分自身を憎んだ者は、いまだかつて、一人もいない。かえって、キリストが教会になさったようにして、おのれを育て養うのが常である。私たちは、キリストのからだの肢体なのである。

エペソ人への手紙5：25-30

父親として：

父たる者よ。子供を怒らせないで、主の薫陶と訓戒とによって、彼らを育てなさい。 エペソ人への手紙6：4

雇用人として：

主人たる者よ。僕たちに対して同様にしなさい。おどかすことを、してはならない。あなた方が知っているとおりに、彼らとあなたがたとの主は天にいますのであり、かつ人のかたよりみる事をなさないのである。

エペソ人への手紙 6 : 9

教会の長老として :

そこで、あなた方のうちの長老たちに勧める。私も、長老の一人で、キリストの苦難についての証人であり、また、やがて現れようとする栄光に預かる者である。あなたがたにゆだねられている神の羊の群れを牧しなさい。強いられてするのではなく、神に従って自ら進んでなし、恥ずべき利得のためではなく、本心から、それをしなさい。また、ゆだねられた者たちの上に権力をふるうことをしないで、むしろ、群れの模範になるべきである。

ペテロの第一の手紙 5 : 1 - 4

クリスチアンはそれぞれの権威の下にある人達に独占的になる事をしてはいけません。

権威に立つ人はその下にいる人が責任ある人になるように、訓練する責任があります。どのように訓練するのでしょうか？

責任感の強いクリスチアンの性格を学びます。

自分の態度に改める事があれば、罪を告白します。

聖書の神の戒めに従う事を決意します。

責任感のある人に見習うことです。

責任のある人、本、CD、ビデオから秘訣を学ぶ。

手紙の交換：キリストへ導く問答

1997年のある日、ある女性が” 苦い思いからの解放” の本を読んではがきを送ってきました。大変悩んでいるようでしたので、彼女に電話しました。それからずっと彼女は質問を手紙に書いてきたので、私も答えを手紙を書き続け、そのコピーを彼女の承諾を得て、この本に付け加えました。同じような問題に悩んでいる人の役に立つ事を願っています。

9月1日

親愛なるジム

今なお、捜し求めています。他の人達と違って私にはそう簡単に受け入れられないけど頑張っています。。毎日聖書を読み、祈っています。誰に祈っているのかわからないけど祈っています。送ってくれた本を読んでいます。「キリスト教の基礎」と言う本と、それから電話で話してくれてありがとう。キリスト教についてあまり知りません。私の最大の障害は信頼と信仰です。わたしにとって、頼るといのがむづかしいのです。でも、変わりたいのです。あなたにキリストを見出し、それから教会を探しなさいと言われた時、とても驚きました。

その事を思い出すたびに祈ります。なんとなく、気まづく、子供っぽく感じけど続けています。本代を送るつもりだったけど、送りませんでした。。贈り物を受けるのが苦手なのですが、いつか、あなたが今私を助けているように、誰かを助けることが出来たらと思っています。真理を見つけて、神が誰であるかを知るようになった時すぐ手紙を書きます。それまで、私は頑張るつもりです。

それまで、
ヴィーキー

親愛なるヴィーキー

手紙を書いてくれてありがとう。その中の幾つかのことについて話しましょう。

- 1) 私は頑張っています。
- 2) 私の最大の障害は信頼と信仰です。
- 3) 祈りは気まづく、子供っぽく感じます。
- 4) 贈り物を受けるのが苦手です。
- 5) 私は頑張るつもりです。

まず1)と5)について。頑張らないことです。あなたは頑張りながら、同時に信頼する事は出来ません。頑張ることがあなたの最大の障害です。頑張るとは自分を信頼する事であって、信頼は自分以外の誰かに頼るのです。もちろん、その誰かが信頼に値する人でなければなりません。自分の信仰に頼らないで、神に信頼を置く事です。信頼と信仰は神の言葉から来ます。信仰は神の言葉を聞くことから始まります。(ローマ書10：17)神への信仰は自分自身を信じる事で妨げられるのです。

よく聞きなさい。心を入れかえて幼な子のようにならなければ、天国に入る事は出来ないであろう。この幼な子のように自分を低くする者が天国で一番えらいのである。(マタイ伝18:3-4)

するとイエスは幼な子らと呼ばせられて、「幼な子らを私のところにくるままにしておきなさい、止めてはなるない。神の国はこのような者の国である。よく聞いておくがよい。誰でも幼な子のように神に国を受け入れる者出なければ、そこに入ることは決してできない。

(ルカ伝18:16-17)

子供のように神を信頼することです。

4)天国は人がどんなにお金をはたいても買い取れるものではなく、人類への神からの愛の賜物です。

罪の支払う報酬は死である。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにおける永遠のいのちである。(ローマ書6:23)

私たちも以前には、無分別で、不従順な、迷っていた者であって、様々の情欲と快楽との奴隷になり、悪意とねたみとで日を過ごし、人に憎まれ、互いに憎み合っていた。ところが、私たちの救い主なる神の慈悲と博愛とが現れたとき、私たちの行った義のわざによってではなく、ただ神のあわれみによって、再生の洗い受け、聖霊により新たにされて、私たちは救われたのである。この聖霊は、私たちの救い主イエスキリストを通して、私たちの上に豊かに注がれた。これは、私たちが、キリストの恵みにとって義とされ、永遠のいのちを望むことによって、御国をつぐ者となるためである。(テトスへの手紙3:3-7)

ヨハネ伝1:1-4、ヘブライ書1:1-4、そしてコロサイ書1:13-20も読んで下さい。これらの聖句は二つの基礎的なことを教えています。

1)御子イエスは御父と共に、天地と全ての生き物を創造されました。私たちは神に創られ、神に属しています。

2)神は私たちを救われました。イエスの十字架の死によって、わたしたちをあげないました。

ローマ書5:6-8と4:24-25もぜひ読んで下さい。マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの全福音書を読まれましたか？これらの四つの福音書はキリスト教の基礎となる教えですから、ぜひ読まれるように。自分に頼って、力まず、聖書を読み、素直に御ことばに答えるのです。

主イエスキリストにありて、
ジム

9月29日

親愛なるジム、

あなたの手紙を読んでほっとしました。自分で理解しようとした時は、意味をなさず、混乱したのが、今わかるようになりました。

私は電光のような奇跡的なことをを期待していましたが、何も起こりませんでした。聖書は信じて求めよと書いてあります。私に出来る事とは、それだけです。私は聖書を読み、祈り、求めました。後は全て神に任せる事にしました。神に私の人生を導いてもらい、私は信仰に飛びこんで生きることにしました。

私の質問に答えてくれたことを感謝しています。私に関心を持ってくれるあなたのような人が持っているのが何かを知りたいのです。お会いしたことありませんが、あなたが、心から神を愛している事を知っています。あなたが私に心にかけてくれることで、わかります。聖書を読んで祈ります。ヨハネ伝の聖書研究会に出席し励んでいます。あなたは、すばらしい人です。ありがとう。

敬愛をこめて、
ヴィッキー

10月9日

親愛なるヴィッキー、

手紙ありがとう。あなたが手紙にこう書いています。「私は電光のような奇跡的な事を期待していましたが、何も起こりませんでした。聖書は信じて求めようと書いてあります。私に出来る事はそれだけです。私は聖書を読み、祈り、求めました。後は、全て神に任せる事にしました。神に私の人生を導いてもらい、私は、信仰に飛びこんで生きることにしました。」先の手紙で言ったように、あなたは自分の力に頼っているようで、それに今なお引っかかっています。次のあなたの手紙を読むまで待つことにしましょう。

あなたは聖書を真剣に読んでます。

あなたは熱心に祈ります。

あなたは熱心に求めています。

熱心に読み、祈り、求め、神が奇跡的に答えると期待したとこと、そして、神にすべてを任して、信仰に飛びこんで生きることにしたと言いました。あなたは、何かをやるという人間中心の救いを求めており、それは、神の救いではありません。

兄弟たちよ。私が以前あなた方に伝えた福音、あなた方が受け入れ、それに立ってきたあの福音を、思い起こしてもらいたい。もしあなたがたが、いたずらに信じないで、私がのべ伝えたとおりの言葉を固く守っておれば、この福音によって救われるのである。私が最も大事なこととしてあなた方に伝えたのは、私自身も受けたことであつた。すなわちキリストが、聖書

に来てあるとおり、私たちの罪のために死んだこと、そして葬られた事、聖書に欠いてあるとおり、三日目によみがえったこと、ケパに現れ、次に、十二人に現れたことである。(コリント第一の手紙15:1-5)

あなたは、神への信頼より、「固く握り締める」事に努力しているようです。あなたが信じる対象は神のことばであって、わたしたしの罪のための神の十字架の死、葬り、よみがえりを信じることです。

- 1) 聖なる神
- 2) 聖なる神の御前のあなたの罪
- 3) 測り知れぬ神の恵み(ローマ書5:20)

あなたの信仰を頼りとしてはいけません。あなたの信仰が果たして神だけを信頼しているかどうか、この聖句が試金石になります。

「神様、罪人のわたしをおゆるしてください。」(ルカ書18:13)
そして、「私の罪を赦して下さった救いに感謝します。」と祈りましょう。

次に掲げた聖書に、あなたの救いの証として読むことができます。

1 ヨハネの手紙3:14	クリスチアンの兄弟愛
1 ヨハネの手紙2:3	従順
コリント第一の手紙2:14	理解
ガラテヤ人への手紙5:19-23	聖霊の実
ヨハネ伝13:34-35	クリスチアンの兄弟愛
ヨハネ伝5:24	御言葉を信じる
ヘブライ人への手紙12:5-11	霊の訓練

これらは、真のクリスチアンに証されるのであって、もし、あなたの人生に証されなければ、あなたは、今なお御国の外にあるのです(救われていません)。あなたにとって、そうであるとは願いません。

主キリストにありて、
ジム

10月12日

親愛なるヴィッキー、

今日、マルコ伝10章を読みました。10章17節の金持ちの男と46節の盲人バルテマイの二つの話を比べて読んで下さい。

若い金持ち	盲人バルテマイ
1. 金持ち	1. こじき
2. 走ってくる	2. すわっている

- | | |
|----------------------------------|------------------------------|
| 3. 健康 | 3. 盲人、上着を脱ぎ捨てる |
| 4. 永遠の命を受けるために、何をしたら
ようでしょうか。 | 4. わたしをあわれんでください。 |
| 5. 十戒の六つの教え | 5. 私に何をしたいのか。 |
| 6. みな守っています。 | 6. 見えるようになることです。 |
| 7. 足りない事が一つ在る。売って、与え、
私に従いなさい | 7. 行け、あなたの信仰があなたを
救ったのです。 |
| 8. 悲しみながら立ち去った。 | 8. たちまち見えるようになり、イ
エスに従った。 |

最初の男は自分で出来ると思ったが、悲しみながら立ち去っていきました。二番目の男は自分で出来ない事を十分承知していましたので、イエスを100%徹底的に信頼しました。ヴィッキー、あなたもバルテマイのように信じるのです。神が唯一の救いの道です。

主キリストにありて、
ジム

10月19日

親愛なるジム、
お手紙ありがとう。わかってきました。それは、簡単で、単純で、無料ということですね。あなたが言ったように、私は自分の力に頼っていたのです。あなたが勧められたように祈り、神の御心のままに私の人生を導き示して下さるように日々祈っています。まだ、自分でやろうとしますが、でも出来るだけ、神の助けを求めています。まだ多くのわからない事が在ります。神の愛を理解しがたいことがあり、考え込みます。でも止めました。誰かが本当に私を愛してくれるなんて考えられないのです。これは子供のころからで、大人になった今も続いている事です。神が私を愛される事を、神の助けを得て受け入れることが出来るでしょう。

マルコ伝の金持ちの男と盲人の話を読みました。私も神との関係を持ちたいのです。過去の災難を私は、いままで文字通り自分の生存的本能に頼って、乗り越えて生きてきました。最近思うことは、私の生存的本能が守ったのではなく、神に守られたのではないかということです。他の人達が私がいろんな経験によく耐え忍んだ事に驚きますが、今振り返ってみると、私が一人で耐えたのではなく、神様が共におられたのだと思います。神様が私を守ってくれたのです。生きるのがつらく、耐えられず、生きる望みを失くしそうになった時も、屈服せず、未来に向かって前進し、私よりもっと悪い逆境にある人の事を思い、笑顔をわすれず生きてきました。

毎日神の愛、私の罪のために御子を十字架の死の苦難を耐えられたことに感謝します。神様にとって、それを見ることは いかに残酷で、それを辞めさせることは出来たでしょうに。私は自分でしようとするので、毎日100回となく、神様を呼んで、私を導いてくれるよう祈ります。神の助けを得て、そのうち私は変えられるでしょう。

時間をさいて電話したり、手紙を書いてくれて感謝しています。だんだん聖書の言っている事がわかりだしてきて、時にはそのことで頭一杯です。神様があなたを通して私を助けているのです。あなたの事を祈っています。あなたが私を助けているように、もし神が望まれるなら、いつか私も他の人の助けになりたいと思います。

愛をこめて、
ヴィッキー

10月26日

親愛なるヴィッキー、

19日付けの手紙を受けました。手紙にあなたはこう言いました。
「神の御心のままに、私の人生を導き示してくださるよう、日々祈っています。私は自分でしようとするので、毎日100回となく、神様を呼んで私を導いてくれるよう祈ります。

いや、神に100回も祈ったり、一日一回も祈ったりすることないです。もし神が一度あなたの人生に入って来て、そして去ったのであれば、呼び返して祈らなければなりません。しかし神を呼び求め、神があなたの内に宿るなら、始終祈る必要はありません。もし神があなたの人生に来られたのなら、主はこう言われました。

「私は、決してあなたを離れず、あなたを捨てない」と言われました。(ヘブライ人への手紙13:5)「私は、彼らに永遠の命を与える。だから、彼らはいつまでも滅びることがなく、また、彼らを私の手から奪い去る者はない。私の父が私に下さったものは、全てにまさるものである。そして誰も父のみ手から、それを奪い取ることは出来ない。私と父とは一つである。」(ヨハネ伝10:28-30)それから、ローマ書8章の31から38節まで読んで下さい。

もう求める事を止めて、感謝しなさい。100回感謝することです。

「わかってきました。それは、簡単で、単純で、無料ということ...」

クリスマスが近づいてきました。家族や友達がプレゼントをくれるでしょう。それは既に支払ってあり、包まれて、あなたの名前が書かれています。あなたはそれを捜し求めるでしょうか？100回も呼んで捜すでしょうか？そのまま包みを開けずに立ち去ることも出来ます。贈り物を拒否する事も出来ます。あなたの名前が書かれた救いの賜物は既に支払われています。あなたはそれを受け取るだけです。

誰でもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、全てが新しくなったのである。しかし、すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによって、私たちを御自分に和解させ、かつ和解の務めをわたしたちに授けて下さった。すなわち、神はキリストにおいて世をご自分に和解させ、その罪過の責任をこれに負わせる事をしないで、わたしたちに和解の福音をゆだねられたのである。神は私たちをとおして勧めをなさるのであるから、私たちはキリストの使者なのである。そこで、キリストに代わって願う、神の和解を受けなさい。神は私たちの罪のために、罪を知らないかたを罪とされた。それは、私たちが、彼にあって神の義となるためなのである。」(2コリント5：17-21)

キリストに代わって願います。「神と和解しなさい。」キリストがあなたの代わりに神にとりなして下さいます。あなたは救いの賜物を受け取って感謝するのです。

あなたの過去の事はあまり知りませんが、困難な人生に負けず打ち勝った人、くじけない人であった事を知っています。それで、神に頼らず自分に頼ってきたので、神を信じるのが難しかったかもしれません。人生の不可解な事をたずねてもしょうがありません。電光がどうして光るかを理解しなくても用を果たせばそれでいいのです。心臓、肝臓や脳の働きを理解できなくても、人は生まれてくるのを拒否しません。人生の難解な問題は後で解決されるか、あるいはそれほど重要なことに見えなくなっていくます。

主キリストにあって、
ジム

11月1日

親愛なるジム、
私の人生にあなたと知り合うことが出来た事をとても幸運に思います。あなたの手紙に書くことは私が考えている事を的中に当てているようです。忍耐深く私に時間を割いて下さってありがとうございます。私の無知をはずかしく思い、あなたは正しく判断しています。今週ヨハネの黙示録を読み始めました。あなたのように聖書を理解できるまで何年も祈りながら、読み、学んでいかねばなりません。

神がよい教会に導いてくれるように祈っています。

洗礼を授かりたいのです。ブラッドにあなたが授けてくれたらと言いました。洗礼についての教えをあまりよく知りません。教会の牧師から洗礼を受けるべきでしょうか？私の過去の宗教経験からその点はよくわかりません。

カトリック教会に今、私が本当に信じている事を手紙に書こうかと思っています。私が、教会を離れたことは彼らにとって、それほど重要なことではないと思います。幼児洗礼で立ち会った名付け親たちはきっと、怒っているでしょう。不思議なことに、私が神を信じるようになってから、今まで長い間会っていなかった人から連絡がありました。

私の人生をあなたに話したことなかったけど、私は35歳で、結婚して子供が二人います。夫も私もこれが二度目の結婚です。彼は前の結婚で二人の子供がいましたが、二人とも死亡しました。(まれな病気で)下の子を二年前埋葬し、上の子を五年前埋葬しました。家族全員にとって、特に夫にとって大変つらく苦しい経験でした。彼は無神論者です。彼は自分の娘をこんなにも長く、つらく苦しめた事を神に恨みを持っているのです。私は彼のため毎日祈っています。私は、二人の娘がいますが、二人とも無心論者で一人は大学生で、もう一人は中学生です。二人の娘は母親の後をついでいます。でも母親思いで、いい娘ですが、主を知りません。彼女たちの事をいつも祈っています。

私はずっと悪習と乱行の環境で育ちました。母はずっとアル中で、私は自活する事が出来ると思った時、家を飛び出しました。16歳で息子を産み、私の人生は悪習の連続(麻薬、お酒、男たち)の道を選び、その後もっと悪化していきました。

21歳の時(この時までには、私は既にすっかりふけてしまい)麻薬を使うのを止めました。また妊娠して結婚(子供の父親でない)しました。カルホルニアへ移りましたが彼は浮気してユタ州に戻りしばらくして離婚しました。その内、娘の父親と友達としてつきあい始めましたが、(息子の父は亡くなりました)彼は娘と関係をもつようになり、彼は「私たちの家族』になりました(私の今の夫も)。

彼(娘の父親)は義理の娘の死んだ後、2年後に亡くなりました。過去数年のさまざまな病苦の争い、死にもかかわらず、それでもまだ私は幸運な方でした。近親の中にはもっと不幸がありました。

私は自家業をかなり成功させており、今は落ち着いて、夫と子供たちを愛しています。私が子供の時は何もなかったけど、私の子供たちは物質の面は何も欠けておらず、生活を楽しんでいます。私は自分で習い、子供にも教え、お金で買えるすべてのぜいたくを楽しみました。でも私は、子供の時と同じ空虚を感じました。

今は私の生涯ではじめて、喜びを感じほほえむ事が出来ます。(以前は、冗談や笑いのお面の後ろに隠れていました。)神を知らなかった時でも、神様は私を守っていて下さったに違いありません。神を知るようになって、言葉に尽くせない喜びを日々感じます。私のしたことに全く無条件な神の愛がどんなものかを体験しました。前の私の人生では、愛されることは条件ずきとっていました。

私は父親を知らずに育ちました。ある時一回会った事を覚えています。父を知らずに育ってきたけど、彼を好ましく思われました。6ヶ月前彼を捜し求めてみましたが、すでに死んでいました。4年前に死んだそうです。もしもっと早く、捜査していたら見つけていたかも知れません。父親の存在がどんなものか経験したことがありません。あなたに書かなかったら、神様を捜し求める事はなかったで

しょう。今神を見つけたので、絶対失いたくありません。助けてくれてどうもありがとう。

愛をこめて、
キリストにあるあなたの姉妹
ヴィッキー

12月11日

親愛なるジム、

長い事手紙を書かなかったので、あなたの事を思い出しています。あなたと家族にとって、全て順調にいったる事と思います。

多忙に暮れ、この二週間ほど、忙しすぎて、気分がふさぎこみました。どうしてかと考えて見ると、私は最近、聖書を読み、祈る時間を持っていなかったのです。昨晚、聖書を読んだら、少し気分が晴れたけど、今日また気分がふさがれるのです。それで、あなたに手紙を書き、聖書を読んでいるところです。

この季節になると、私はなんとなく憂鬱になりがちです。今年はそうでないように願っているのですが、でも自分自身が変わらねばと思います。主イエスに目を向け、主を私の生活の中心としなければと思います。そうすれば全てが順調に行くはず。どうしてそう出来ないのかと自分を責めています。

いつか、あなたの所へお伺いしようと思っています。もし、私が行く前に、あなたがこちらに来られることがあれば、知らせて下さい。

質問があります。昨晚ヨハネ伝の11章を読みました。誰かが死んだら、すぐ天国に行くのでしょうか？もしそうであれば、よみがえりとは何ですか？よみがえりは一回だけでしょうか？イエスがよみがえられた時、肉体の体でしたね？わたしたちもそうなるのかと考えてみるのです。

すばらしいクリスマスとお正月をお過ごしください！

愛をこめて、
ヴィッキー

12月16日

親愛なるヴィッキー、

あなたから私の家族への贈り物と手紙が今朝届きました。どうもありがとう。

あなたの判断は(部分的)正しいです。神と日々聖書を通して、祈り、交わりの喜びを持つのは重要なことです。もう一つの面は予防法です。罪の告白についてのテープをおくります。

その間、1ヨハネの手紙1：5-10を読んでください。

よみがえりの質問について：

1. 私たちはすぐ天国は行きますが、肉体はここに残します。

私たちにとっては、生きることはキリストであり、死ぬことは益である。しかし、肉体において生きていることが、わたしにとっては実り多い働きになるのだとすれば、どちらを選んだらよいか、私にはわからない。私は、これら二つのものの間に板ばさみになっている。わたしの願いを言えば、この世を去ってキリストと共にいる事であり、実は、その方がはるかに望ましい。しかし、肉体にとどまっている事は、あなた方のためには、さらに必要である。 (ピリピ書 1 : 21 - 24)

コリント第二 5 : 6-9 を参照

2. イエスが地上に再臨される時、よみがえりが起こります。

兄弟たちよ。眠っている人々については、無知でいてもらいたくない。望みを持たない外の人々のように、あなた方が悲しむことのないためである。私たちが信じているように、イエスが死んで復活されたからには、同様に神はイエスにあって眠っている人々をも、イエスと一緒に導き出して下さるであろう。 私たちは主の言葉によって言うが、生きながらえて主の来臨の時まで残る私たちが、眠って人々より先になる事は、決してないであろう。すなわち、主ご自身が天使のかしらの声のラッパの鳴り響く内に、合図の声で、天から下ってこられます。その時、キリストにあって死んだ人々が、まず最初に甦り、それから生き残っている私たちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。だから、あなた方は、これらの言葉を持って互いに慰め合いなさい。 (テサロニケ第一 4 : 13 - 18)

これに関しての聖句はコリント第一 15 : 47-54 を参照

3. キリストが再臨した後でキリストのような体を与えられます。

しかし、私たちの国籍は天にある。そこから、救い主、主イエスキリストの来られるのを、私たちは待ち望んでいる。彼は、万物をご自身に従わせる力の働きにとって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光の体と同じかたちに変えて下さるであろう。 (ピリピ書 3 : 20 - 21)

1 ヨハネの手紙 3 : 1 - 3

テトスへの手紙 2 : 11-14

ローマ人への手紙 8 : 22 - 25

主イエスキリストに仕える者

ジム

福音

この本 ” どうして苦い思いから解放されるか ” を読まれた人々が自分はクリスチアンでないことに気づきます。もしクリスチアンであれば、この罪から逃れる出る事が出来ます。クリスチアンでなければ、もっと他の罪にも捕われ、生まれつきの罪の誘惑に傾いていきます。苦い根を切断するためには、古き人(肉の人)とその行い(苦い思い)を脱ぎ捨て、新しき人(霊の人)を着るのです。それは、あなたには出来ない事です。神によって成されます。(コロサイ書 3 : 9)

それはどういうことですか？

1. 自分の罪の呵責、罪の裁き、罪の力から解放されたいと気づかねばなりません。
2. 罪の奴隷として束縛され、全く無力であることを気づかねばなりません。
3. 自分の善悪に関わらず、自分の努力や行いが人を救い得ないことに気づかねばなりません。
4. 神は不信人な者のために死ぬために、主イエスを地上に遣わし、私たちの救いを成し遂げられました。(ローマ書 5 : 6)
5. 私たちの罪のために死なれた主イエスは三日後によみがえることによって、私たちを義とされました。「主は、私たちの罪過のために死に渡され、私たちが義とされるために、よみがえらされたのである。

(ローマ書 4 : 25)

6. 聖霊は、貴方が罪から離れ、主イエスを呼び求め、主の死と甦りを信じるようにと導いています。

「すなわち、自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神が死人の中からイエスをよみがえらせたことと信じるなら、あなたは救われる。なぜなら、人は心に信じて義とされ、口で告白して救われるからである。」
ローマ書 10 : 9 - 10

「兄弟たちよ。私が以前あなた方に伝えた福音、あなたがたが受け入れ、それによって立ってきたあの福音を、思い起こしてもらいたい。もしあなたがたが、いたずらに信じないで、私の述べ伝えたとおりの言葉を固く守っておれば、この福音によって救われるのである。わたしが最も大事なこととしてあなたがたに伝えたのは、私自身も受けたことであった。すなわちキリストが、聖書に書いてあるとおりの、わたしたちの罪のために死んだこと、そして葬られた事、聖書に書いてあるとおりの、三日目によみがえったこと、ケパに現れ、次に十二人に現れたことである。」

コリント第一の手紙 15 : 1 - 5

主イエスを呼び求めたら、神に近づけられ、罪の赦しを得、永遠の命を賜った事に感謝しましょう。

神が貴方になされた事、そして罪を赦された解放の喜びを他の人にも伝えましょう。

貴方が霊的な成長に助けとなる、いろいろなパンフレットや、本を求められたい方はどうぞ下記に連絡して下さい。

ジム ウィルソン

Atten:Jim Wilson
Community Christian Ministries
PO Box 9754
Moscow, ID 83843-0180
Tel.(208)883-0997
E-mail:ccm@moscow.com
Website:ccmbooks.org